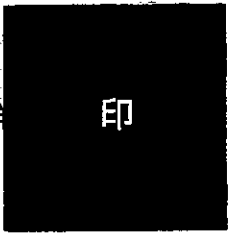




近畿厚生局長 殿

大阪大学医学部附属病院院長  
福澤 正洋



大阪大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

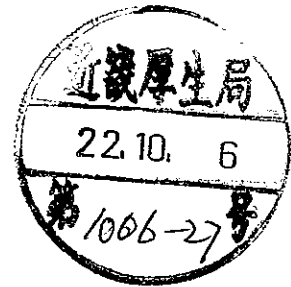
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	117.83人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)



7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	406人	437人	697.8人	看護補助者	7.5人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	8人	9.2人	17.2人	理学療法士	8人	臨床検査技師	72.1人
薬剤師	52人	11人	60.2人	作業療法士	3人	臨床検査衛生検査技師	5人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	14.5人	その他	0人
助産師	24人	0人	24.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	832人	20人	857.1人	臨床工学技士	15人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	5人	0人	5.0人	栄養士	0人	その他の技術員	6.5人
歯科衛生士	0人	2人	1.5人	歯科技工士	0人	事務職員	171.2人
管理栄養士	6人	0人	6.0人	診療放射線技師	52.8人	その他の職員	43.9人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	880.8人	0.0人	880.8人
1日当たり平均外来患者数	2,548.4人	6.2人	2,554.6人
1日当たり平均調剤数	外来93.8、入院1000.3	合計	1094.1剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	0人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	94人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	9人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	0人
脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	6人
膀胱水圧拡張術	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	5人
腹腔鏡下肝部分切除術	27人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名	無し	取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	198人	・膿疱性乾癬	10人
・多発性硬化症	63人	・広範脊柱管狭窄症	8人
・重症筋無力症	181人	・原発性胆汁性肝硬変	61人
・全身性エリテマトーデス	422人	・重症急性膵炎	4人
・スモン	12人	・特発性大腿骨頭壊死症	78人
・再生不良性貧血	79人	・混合性結合組織病	76人
・サルコイドーシス	92人	・原発性免疫不全症候群	17人
・筋萎縮性側索硬化症	38人	・特発性間質性肺炎	20人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	275人	・網膜色素変性症	91人
・特発性血小板減少性紫斑病	131人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	33人	・肺動脈性肺高血圧症	5人
・潰瘍性大腸炎	173人	・神経線維腫症	44人
・大動脈炎症候群	82人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ビュルガー病	34人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・天疱瘡	41人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4人
・脊髄小脳変性症	79人	・ライソゾーム病	38人
・クローン病	134人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	7人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	19人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	280人	・球脊髄性筋萎縮症	2人
		・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	3人
・アミロイドーシス	6人	・肥大型心筋症	3人
・後縦靭帯骨化症	87人	・拘束型心筋症	0人
・ハンチントン病	2人	・ミトコンドリア病	1人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	24人	・リンパ管筋腫症(LAM)	2人
・ウェゲナー肉芽腫症	7人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	157人	・黄色靭帯骨化症	2人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	31人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	22人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	30人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・生体部分肺移植術	・
・腹腔鏡下肝部分切除術	・
・膀胱水圧拡張術	・
・画像等手術支援加算	・
・超音波骨折治療法	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	3~4回/月
部 検 の 状 況	部検症例数 48 例 / 部検率 15.4 %

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
タンパク質分解系による心不全制御機構の解明	大津 欣也	循環器内科	3,300	補委 文部科学省
心筋細胞におけるクロマチンリモデリング制御機構の解明と細胞機能維持への試み	朝野 仁裕	循環器内科	6,630	補委 文部科学省
肺高血圧の病態におけるAngiotensin-1/Tie2シグナルの役割解明	黒田 忠	循環器内科	1,690	補委 文部科学省
心筋細胞の非分裂性を規定する因子の同定・機能解析と治療への応用に向けた基盤研究	高島 成二	循環器内科	4,810	補委 日本学術振興会
アディポネクチンによるHDL新生と脂質排泄促進を介した粥状動脈硬化防御の分子機構	山下 静也	循環器内科	6,240	補委 日本学術振興会
心不全発症における細胞内分解機構の検討とその治療への応用	大津 欣也	循環器内科	6,630	補委 日本学術振興会
Aktシグナルによる心筋代謝調節機構の解明	塩島 一郎	循環器内科	6,240	補委 日本学術振興会
心不全進展におけるオートファジー制御機構の解明と治療への応用	山口 修	循環器内科	1,300	補委 日本学術振興会
拡張不全発症・進行における食塩感受性の役割について 内因性ステロイド物質の関与	坂田 泰史	循環器内科	2,470	補委 日本学術振興会
アンジオテンシンII受容体遺伝子多型が高血圧と関連して心血管事故に及ぼす影響の検討	佐藤 洋	循環器内科	2,210	補委 日本学術振興会
心臓組織内の内皮細胞を起点としたシグナルネットワークによる心筋保護の分子機構	中岡 良和	循環器内科	2,470	補委 日本学術振興会
ナノサイズリポソームを用いた急性心筋梗塞治療法の開発	南野 哲男	循環器内科	46,930,000	補委 厚生労働省
中性脂肪蓄積心血管症の発見—その疾患概念の確立、診断法、治療法の開発—	平野 賢一	循環器内科	26,000,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
重症特発性心筋症患者の生体資料の収集および新規予後規定因子の検索・解析	高島 成二	循環器内科	5,000,000	補委 厚生労働省
コレステリルエステル転送蛋白欠損症の病態把握のための疫学研究	平野 賢一	循環器内科	26,000,000	補委 厚生労働省
症例選択基準の選定・最適化にむけたデータ評価に関する研究	山下 静也	循環器内科	15,000,000	補委 (独) 医薬基盤研究所
心不全発症予防を目指した新規サイトカイン療法の確立	中岡 良和	循環器内科	2,000,000	補委 (財) 千里ライフサイエンス振興財団
心筋細胞死誘導における細胞内シグナロームの役割の検討	大津 欣也	循環器内科	2,000,000	補委 国立循環器病センター
(若手B) カルシウムを中心とした心不全発症の分子機構の解明と治療への応用	武田 理宏	循環器内科	2,210,000	補委 文部科学省
卵膜由来間葉系幹細胞移植による再生医療の基礎的検討	猪阪 善隆	腎臓内科	2,730	補委 日本学術振興会
常染色体劣性遺伝多発性嚢胞腎遺伝子の細胞内情報伝達における役割の研究	貝森 淳哉	腎臓内科	1,560	補委 日本学術振興会
CD28スーパーアゴニストによる制御性T細胞増幅効果とその治療への応用	高島 義嗣	腎臓内科	2,600	補委 日本学術振興会
CKDの早期発見・予防・治療標準化・進展阻止に関する調査研究	今井 圓裕	腎臓内科	15,600,000	補委 厚生労働省
(若手B) 慢性糸球体腎炎から慢性腎不全への進展リスクファクター遺伝子群の同定とその応用	山本 陵平	腎臓内科	3,510,000	補委 文部科学省
C型肝炎における自然免疫の統合解析と新規免疫治療法の開発	林 紀夫	消化器内科	14,560	補委 日本学術振興会
肝癌におけるNKレセプターとそのリガンドの発現制御機構の解明と新規治療法の開発	竹原 徹郎	消化器内科	5,850	補委 日本学術振興会
樹状細胞を介した統合的免疫制御によるC型肝炎・肝癌治療法の開発	考藤 達哉	消化器内科	1,170	補委 日本学術振興会



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
消化管運動におけるカハール介在細胞の関与—2型糖尿病における病的意義	筒井 秀作	消化器内科	1,430	補委 日本学術振興会
肝癌発症進展過程における低アディポネクチン血症の意義に関する研究	吉田 雄一	消化器内科	650	補委 日本学術振興会
糖鎖技術を用いた新しいNASHの病態解析	平松 直樹	消化器内科	1,170	補委 日本学術振興会
胃食道逆流症の発症およびバレット食道癌への進展におけるアディポネクチンの役割	渡部 健二	消化器内科	2,080	補委 日本学術振興会
microRNA発現の網羅的解析に基づいたCagAの細胞形質に及ぼす影響の検討	辻井 正彦	消化器内科	2,470	補委 日本学術振興会
肝癌幹細胞に対する癌免疫治療とその分子機構の解析	巽 智秀	消化器内科	1,690	補委 日本学術振興会
C型肝炎に対する効果的治療戦略探索に向けた免疫細胞内IFNシグナル伝達機構の解析	宮城 琢也	消化器内科	1,560	補委 日本学術振興会
細胞内シグナルを分子標的としたC型肝炎ウイルス増殖の制御	石田 永	消化器内科	1,690	補委 日本学術振興会
肝特異的ヘパリン結合性上皮増殖因子様増殖因子欠損マウスを用いた肝再生機構の解明	木曾 真一	消化器内科	3,120	補委 日本学術振興会
癌化過程におけるSTAT分子の役割—STAT相互の活性化シフトを介して	法水 淳	消化器内科	1,950	補委 日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎における肝細胞死とBcl-2ネットワーク	竹原 徹郎	消化器内科	1,000	補委 日本学術振興会
C型肝炎難治症例の病態解明と抗ウイルス治療に関する研究	竹原 徹郎	消化器内科	47,502,000	補委 厚生労働省
B型及びC型肝炎ウイルスの感染による肝がん発症の病態解明とその予防・治療法の開発に関する研究	林 紀夫	消化器内科	51,366,000	補委 厚生労働省
ナノ-癌抗原ペプチドを用いた肝癌・消化器癌免疫治療法の開発	巽 智秀	消化器内科	14,560,000	補委 (独) 科学技術振興機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
がん診療連携拠点病院機能強化事業	林 紀夫	消化器内科	22,789,000	補 委	厚生労働省
感染症対策特別促進事業	林 紀夫	消化器内科	2,744,000	補 委	厚生労働省
2型糖尿病におけるMafAの重要性の検討	松岡 孝昭	内分泌・代謝内科	2,340	補 委	日本学術振興会
膵β細胞ブドウ糖毒性の分子機構および治療法の検討ー転写因子PDX-1を中心にー	金藤 秀明	内分泌・代謝内科	2,210	補 委	日本学術振興会
発症直後患者膵組織を用いた劇症1型糖尿病発症鍵分子の同定とその検証	今川 彰久	内分泌・代謝内科	1,690	補 委	日本学術振興会
テトラスパニンノックアウトマウスを用いた肺炎症メカニズムの解析	立花 功	呼吸器内科	1,560	補 委	日本学術振興会
COPDの病態におけるサーファクタント蛋白Dの役割分析	吉田 光宏	呼吸器内科	1,820	補 委	日本学術振興会
血管新生とリンパ管新生におけるテトラスパニンの機能解析	川瀬 一郎	呼吸器内科	1,560	補 委	日本学術振興会
肺線維症におけるテトラスパニン(CD9, CD151)の機能解析	武田 吉人	呼吸器内科	1,820	補 委	日本学術振興会
多剤耐性小細胞肺がんの分子標的治療	木島 貴志	呼吸器内科	1,950	補 委	日本学術振興会
発症メカニズムの解明と新たな創薬を目的としたCOPDモデルマウスの開発	立花 功	呼吸器内科	17,000,000	補 委	(財)千里ライフサイエンス振興財団
膵臓癌に対する化学療法併用WT1ペプチドワクチン療法の開発と抗腫瘍免疫動態の解析	西田 純幸	免疫・アレルギー内科	1,430	補 委	文部科学省
肺癌に対する、癌抗原WT1を標的としたペプチドワクチン療法	岡 芳弘	免疫・アレルギー内科	2,470	補 委	日本学術振興会
正常造血ならびに白血病発症に体内鉄動態が及ぼす影響についての解析	田中 宏和	血液・腫瘍内科	2,730	補 委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
造血幹細胞の細胞内代謝・増殖・分化制御と白血病原因遺伝子が及ぼす影響に関する研究	松村 到	血液・腫瘍内科	6,240	補委 日本学術振興会
発作性夜間血色素尿症に対するRNAアプタマーを用いた分子標的療法の開発	西村 純一	血液・腫瘍内科	1,300	補委 日本学術振興会
新規血小板機能抑制分子セマフォリン3Aの抑制機構および抗血栓作用に関する検討	柏木 浩和	血液・腫瘍内科	1,300	補委 日本学術振興会
新規リンパ球初期分化制御分子SFRP1の生理的機能と作用機序の解明	横田 貴史	血液・腫瘍内科	1,690	補委 日本学術振興会
インテグリン結合タンパクを介したインテグリン機能制御機構の解明と新規治療薬の開発	田所 誠司	血液・腫瘍内科	1,560	補委 日本学術振興会
(基盤C) インテグリン結合タンパクを介したインテグリン機能制御機構の解明と新規治療薬の開発	田所 誠司	血液・腫瘍内科	1,101,581	補委 独立行政法人 日本学術振興会
(基盤C) AML1点突然変異体による骨髓異形成症候群発症の病態解析	佐藤 友亮	血液・腫瘍内科	1,170,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
(基盤C) 接着分子による骨髓腫細胞の増殖、分化制御機構の解明	安見 正人	血液・腫瘍内科	1,950,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
(若手B) RNAアプタマーを用いた白血病細胞特異的ドラッグデリバリーシステムの開発	植田 康敬	血液・腫瘍内科	1,820,000	補委 文部科学省
(若手B) 多発性骨髓腫細胞に対するキメラ受容体を用いた細胞免疫療法の開発	高橋 功	血液・腫瘍内科	1,551,622	補委 文部科学省
Apoptタンパク質による老化誘導機構の解析	樂木 宏実	老年・高血圧内科	5,720	補委 日本学術振興会
Aβ <sub>25-35</sub> 離散・クリアランスをターゲットとした認知症治療法に関する研究	里 直行	老年・高血圧内科	1,560	補委 日本学術振興会
2型糖尿病自然寛解モデル動物を用いた膵β細胞量制御機構の解明：寛解導入にむけて	藤澤 智巳	老年・高血圧内科	1,950	補委 日本学術振興会
アルツハイマー病と糖尿病の相互的な病態修飾機序の解明	森下 竜一	老年・高血圧内科	1,200	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
薬剤流出人工骨（ネオボーン）の実用化試験	森下 竜一	老年・高血圧内科	30,000,000	補委 (独) 医薬基盤研究所
転移促進因子抑制による癌転移抑制療法の開発	森下 竜一	老年・高血圧内科	6,000,000	補委 (独) 科学技術振興機構
新規核酸ハイブリッド-スマップデコイの医薬品原体としての開発	森下 竜一	老年・高血圧内科	18,550,350	補委 特定非営利活動法人近畿バイオインダストリー振興会議
植物の再生機構由来の機能性ペプチドを利用した医療用品の開発	森下 竜一	老年・高血圧内科	13,868,400	補委 特定非営利活動法人近畿バイオインダストリー振興会議
NSAIDs起因性小腸潰瘍に対する大建中湯の予防効果の検討	有光 潤介	漢方医学科	3,770	補委 文部科学省
人工幹細胞ニッチと幹細胞誘導因子を用いた幹細胞制御心筋再生治療法の確立	澤 芳樹	心臓血管外科	20,280	補委 日本学術振興会
全大動脈対応型ナビゲーションシステムによる新規ステントグラフトシステムの開発	島村 和男	心臓血管外科	2,600	補委 日本学術振興会
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）の外科手術前除菌操作の是非に関する Feasibility Study	澤 芳樹	心臓血管外科	13,000,000	補委 厚生労働省
脳死並びに心停止ドナーにおけるマージナルドナーの有効利用に関する研究	福嶋 教偉	心臓血管外科	12,300,000	補委 厚生労働省
重症拡張型心筋症へのbridge-to-transplantation /recoveryを目指した新規治療法の開発と実践	澤 芳樹	心臓血管外科	600,000,000	補委 厚生労働省
生体ゆらぎに学ぶ知的人工物と情報システム	澤 芳樹	心臓血管外科	235,000	補委 文部科学省
再生医療における新しい細胞マトリックス作成技術の開発	澤 芳樹	心臓血管外科	4,800,000	補委 (独) 科学技術振興機構
生体ゆらぎに学ぶ知的人工物と情報システム	澤 芳樹	心臓血管外科	235,000	補委 文部科学省
京都大学iPS細胞研究統合推進拠点（iPS細胞からの心筋分化系の確立ならびに動物モデルによる評価）	澤 芳樹	心臓血管外科	19,000,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
再生医療の早期実用化を目指した再生評価技術開発（心筋の再生医療プロセスの計測・評価技術開発）	澤 芳樹	心臓血管外科	11,810,400	補委 技術研究組合医療福祉機器研究所
遺伝子・細胞・組織工学の国際的技術を集結させた心筋組織の構築と心不全治療への応用	澤 芳樹	心臓血管外科	15,840,000	補委 (独) 日本学術振興会
小児補助人工心臓治療に関する臨床的研究	松宮 護郎	心臓血管外科	2,000,000	補委 国立循環器病センター
TregとTh17の制御による肺移植後の拒絶反応に対する新たな治療戦略の開発	奥村 明之進	呼吸器外科	3,120	補委 日本学術振興会
遊離癌細胞をターゲットとした新たな肺癌治療戦略の開発	澤端 章好	呼吸器外科	8,970	補委 日本学術振興会
胸腺種内微小環境が与えるシグナルの解析に基づく胸腺腫の免疫学的機能の評価	門田 嘉久	呼吸器外科	1,820	補委 日本学術振興会
Dormant Cancer Cellの分布に基づいた肺癌術後転移再発制御の試み	井上 匡美	呼吸器外科	2,990	補委 日本学術振興会
胸腺上皮性腫瘍のT細胞分化におけるオートファジーの役割の解析	内海 朝喜	呼吸器外科	1,950	補委 日本学術振興会
(若手B) 肺移植の拒絶反応抑制のためのサイトカイン受容体に対する分子標的療法の開発	中桐 伴行	呼吸器外科	2,990,000	補委 文部科学省
大腸上皮幹細胞の加齢による変化と発癌への関与	森 正樹	消化器外科	5,500	補委 文部科学省
高精度の分子遺伝学的評価による食道癌治療成績向上のための包括的研究	森 正樹	消化器外科	58,630	補委 日本学術振興会
消化器がんの腫瘍発生に於ける糖鎖修飾の関与	西田 俊朗	消化器外科	4,290	補委 日本学術振興会
消化管ホルモン・グレリンを用いた上部消化管術後QOL改善の総合的治療戦略	土岐 祐一郎	消化器外科	6,110	補委 日本学術振興会
大腸がんにおけるOMICsの臨床応用と新規マーカーの探索	竹政 伊知朗	消化器外科	6,110	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
臨床応用へ向けた癌細胞と微小環境の役割解明に関する包括的研究	山本 浩文	消化器外科	6,110	補委 日本学術振興会
進行肝癌に対する肝特異的分子生物学的特性を応用した新規治療法の展開と応用	永野 浩昭	消化器外科	7,540	補委 日本学術振興会
膵島移植長期成績改善のためのオートファージ阻害剤による免疫抑制副作用制御法の開発	伊藤 壽記	消化器外科	1,300	補委 日本学術振興会
肝移植における非侵襲的グラフト病態診断法の確立とリアルタイム免疫応答モニタリング	丸橋 繁	消化器外科	1,690	補委 日本学術振興会
食道癌化学療法耐性における骨髄由来細胞の機能解明とそれを標的とした治療開発	宮田 博志	消化器外科	1,690	補委 日本学術振興会
炎症性腸疾患に対する炭酸ガス送気消化管内視鏡の安全性と有用性の検討	中島 清一	消化器外科	2,470	補委 日本学術振興会
進行癌に対する癌ワクチン療法の治療効果予測システムの新規開発	森 正樹	消化器外科	1,600	補委 日本学術振興会
Common経路とspecific経路による食道癌化学療法感受性の解析	土岐 祐一郎	消化器外科	1,500	補委 日本学術振興会
癌幹細胞の増幅と創薬応用を目指す未来型の探索研究	関本 貢嗣	消化器外科	2,100	補委 日本学術振興会
炭酸アパタイトナノテクノロジーによる難治性固形癌の治療法の開発	山本 浩文	消化器外科	1,600	補委 日本学術振興会
肝癌症例末梢血中の転移形成能力を有する癌細胞の検出	永野 浩昭	消化器外科	1,700	補委 日本学術振興会
大腸癌の発生、進展および治療感受性に関わる因子の解析	森 正樹	消化器外科	56,355,520	補委 (独) 科学技術振興機構
アカデミアのTR拠点が創出する膵島移植確立のための戦略的アプローチ②新規免疫抑制療法を併用する臨床膵島移植の開発	伊藤 壽記	消化器外科	2,500,730	補委 文部科学省
癌特異的抗原受容体改変T細胞の輸注とがんワクチンによる複合的がん免疫療法の研究開発	土岐 祐一郎	消化器外科	1,999,200	補委 タカラバイオ(株)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
プラスチック成形加工技術の高度化による安全、高機能な次世代内視鏡治療関連医療機器の研究開発	中島 清一	消化器外科	11,009,250	補 委 近畿経済産業局
ゲノム網羅的解析情報を基盤とするオーダーメイドがん医療	森 正樹	消化器外科	5,000,000	補 委 文部科学省
術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験（治療切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法との比較検討）	池田 正孝	消化器外科	13,650	補 委 （財）がん集学的治療研究財団
（挑戦的萌芽）消化器外科領域における自己生体素材を用いた再生医療の開発	高橋 秀和	消化器外科	1,500,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
（若手B）消化器癌幹細胞の自己複製、細胞周期調節機構の解明と、癌幹細胞標的療法の開発	原口 直紹	消化器外科	2,210,000	補 委 文部科学省
（若手B）マイクロRNAによる消化器癌の未分化性獲得と新規分化誘導療法の開発研究	富丸 慶人	消化器外科	3,900,000	補 委 文部科学省
（若手B）網羅的遺伝子発現解析を用いた食道癌に対する化学療法の感受性予測診断に関する研究	牧野 知紀	消化器外科	2,210,000	補 委 文部科学省
乳がんの個性診断と分子病態解明	野口 眞三郎	乳腺・内分泌外科	10,300	補 委 文部科学省
Wilms腫瘍に対する生物学的予後因子により層別化した新規治療プロトコルの開発	大植 孝治	小児外科	4,550	補 委 日本学術振興会
新素材を足場骨格に応用した小児の気管・気管支再生に関する研究	臼井 規朗	小児外科	1,430	補 委 日本学術振興会
（基盤C）ケモカイン及びそのレセプターを標的とする抗体療法及び遺伝子療法の開発	上野 豪久	小児外科	1,300,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
（若手B）Wilms腫瘍に対するWT1遺伝子のサイレンシングによる分化誘導療法の開発	高間 勇一	小児外科	1,170,000	補 委 文部科学省
（若手B）細胞膜シートと回転培養法を応用した足場を必要としない気管軟骨再生法の開発	谷 岳人	小児外科	2,730,000	補 委 文部科学省
眼組織幹細胞の分化誘導と再生医療への応用	井上 智之	眼科	1,430	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ラットモデルを用いたアルツハイマー病治療薬による緑内障に対する神経保護治療の開発	三木 篤也	眼科	650	補委 文部科学省
網膜色素変性に対する進行防止療法の開発と視覚再生	不二門 尚	眼科	10,660	補委 日本学術振興会
バイオナノカプセルの眼疾患への応用	大黒 伸行	眼科	5,200	補委 日本学術振興会
強度近視眼における眼内線維増殖および網膜剥離の研究	生野 恭司	眼科	1,040	補委 日本学術振興会
視神経乳頭電気刺激による視機能再生の検討	坂口 裕和	眼科	1,170	補委 日本学術振興会
未熟児網膜症の病態研究とその治療薬剤の検討	日下 俊次	眼科	780	補委 日本学術振興会
視細胞死の機構の詳細な解明とその阻止	辻川 元一	眼科	1,560	補委 日本学術振興会
眼内血管新生疾患における血管成熟の制御と造血系幹細胞との関連	大島 佑介	眼科	1,430	補委 日本学術振興会
加齢黄斑変性の病態解明—光ストレスによる脂質酸化と自然免疫の関与	瓶井 資弘	眼科	2,730	補委 日本学術振興会
次世代光干渉断層計を用いた包括的角膜光学的特性評価	前田 直之	眼科	2,210	補委 日本学術振興会
ラマン散乱分光を用いた網膜代謝画像解析	不二門 尚	眼科	1,300	補委 日本学術振興会
電気刺激を用いた難治性視神経疾患の治療法の研究開発	森本 壮	眼科	1,417	補委 日本学術振興会
脈絡膜状網膜電気刺激(STS)法による人工視覚システムの臨床応用	不二門 尚	眼科	29,500,000	補委 厚生労働省
高解像度人工網膜電極の開発・評価	不二門 尚	眼科	15,470,000	補委 文部科学省



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
広画角眼底カメラを使用した未熟児網膜症の眼底検査と遠隔診断システムの開発（関西地区）	日下 俊次	眼科	1,500,000	補委 国立成育医療センター
(若手B)実験的自己免疫性ぶどう膜炎におけるmiRNAの発現解析	橋田 徳康	眼科	2,210,000	補委 文部科学省
頭頸部扁平上皮癌患者の循環血液中の腫瘍細胞の定量	富山 要一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,080	補委 文部科学省
DNAマイクロレイによる内耳病態の解明—ヒト内リンパ嚢遺伝子の動態解析	土井 勝美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	910	補委 日本学術振興会
内耳発生における幹細胞・前駆細胞の増殖・分化制御機構の解明と再生医療への応用	村田 潤子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300	補委 日本学術振興会
耳鳴動物モデルにおける耳鳴評価法の確立と耳鳴分子マーカーの検索	北原 紘	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	3,120	補委 日本学術振興会
仮想現実による高齢者の空間認知の研究：運動器不安定症への対策に向けて	西池 季隆	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,340	補委 日本学術振興会
p53コドン72遺伝子多型と腫瘍の生物学的活性に基づく化学放射線療法の予後診断	猪原 秀典	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,430	補委 日本学術振興会
造血系幹細胞の骨分化能の検討と再生医療への応用	玉井 宣行	整形外科	780	補委 文部科学省
生体関節運動に対する次世代画像としての3次元バーチャルリアリティ装置の開発	森友 寿夫	整形外科	4,420	補委 日本学術振興会
骨細胞特異的蛋白の血中濃度測定による経済的かつ簡便な骨強度評価法の新規開発	橋本 淳	整形外科	5,330	補委 日本学術振興会
骨再生のための高機能付加型人工骨の開発	吉川 秀樹	整形外科	5,590	補委 日本学術振興会
軟骨形成・分化にかかわる骨形成因子関連シグナルの解明と軟骨修復	妻木 範行	整形外科	5,590	補委 日本学術振興会
関節障害の病態解明と薬物治療効果判定のための機能的イメージングの開発	西井 孝	整形外科	650	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
悪性骨軟部腫瘍肺転移成立における骨髄由来細胞によるニッチの形成とその役割	橋本 伸之	整形外科	1,560	補委 日本学術振興会
酸素分圧の骨組織への影響とそのメカニズムの解明	南平 昭豪	整形外科	1,170	補委 日本学術振興会
末梢神経障害部位を描出する新しい検査方法の開発	村瀬 剛	整形外科	800	補委 日本学術振興会
航空宇宙用複合材料による超長寿命型人工股関節の実用性検証	菅野 伸彦	整形外科	13,525,000	補委 (独) 科学技術振興機構
複合組織再生技術とコンピューター支援外科技術によるバイオ人工関節の開発	吉川 秀樹	整形外科	9,100,000	補委 (独) 科学技術振興機構
軟骨前駆細胞の誘導技術開発と誘導メカニズムの解析	妻木 範行	整形外科	39,000,000	補委 (独) 科学技術振興機構
未来型運動器インプラントの3次元手術支援部材及びシステム	村瀬 剛	整形外科	3,089,122	補委 ナカシマメディカル
三次元複合臓器構造体研究開発	吉川秀樹	整形外科	13,974,873	補委 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
3次元動態解析と手術ガイドを応用した新規人工関節手術システム	吉川 秀樹	整形外科	1,044,750	補委 ナカシマメディカル(株)
真空維持技術を利用したテーラーメイド的バイオ医薬用の保存安定化プロセスの研究開発	菅野 伸彦	整形外科	530,145	補委 (財) 岐阜県研究開発財団
ヒト軟骨三次元組織を用いた創薬スクリーニングキットの開発	中田 研	整形外科	14,000,000	補委 (財) 千里ライフサイエンス振興財団
皮膚疾患および病態における核移行シグナルの役割	梅垣 知子	皮膚科	1,690	補委 文部科学省
皮膚表皮細胞特異的PBP遺伝子欠損マウスの解析	中島 武之	皮膚科	1,950	補委 文部科学省
表皮自己抗原を発現する新規リンパ球系細胞の役割	小豆澤 宏明	皮膚科	2,210	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
RNA干渉を利用したアトピー性皮膚炎の新規遺伝子治療法開発	井川 健	皮膚科	1,690	補委 文部科学省
骨髄由来表皮細胞による表皮再生誘導に関する基礎研究	玉井 克人	皮膚科	4,420	補委 日本学術振興会
皮膚におけるarteminの発現機構とその分子生理学的役割の検討	室田 浩之	皮膚科	1,430	補委 日本学術振興会
皮膚再生機構の解明-毛包細胞内シグナル伝達機構の解析-	板見 智	皮膚科	1,170	補委 日本学術振興会
皮膚侵襲シグナルに対する恒常性維持に関わる新規調節分子の動態解析	片山 一郎	皮膚科	2,470	補委 日本学術振興会
骨髄間葉系および上皮系前駆細胞の高効率回収法開発と難治性皮膚疾患治療への応用	玉井 克人	皮膚科	3,100	補委 日本学術振興会
表皮水疱症の根治的治療法確立に関する研究	玉井 克人	皮膚科	39,000,000	補委 厚生労働省
白斑の診断基準及び治療指針の確立	片山 一郎	皮膚科	26,000,000	補委 厚生労働省
改良型AG-30 (AE289) の薬効検討	玉井 克人	皮膚科	65,000,000	補委 (独) 医薬基盤研究所
新規脳梗塞治療薬を目指した機能的組織再生促進医薬の開発	玉井 克人	皮膚科	871,000	補委 (独) 科学技術振興機構
新規脳梗塞治療薬を目指した機能的組織再生促進医薬の開発	玉井 克人	皮膚科	3,000,000	補委 (独) 科学技術振興機構
骨髄由来間葉系幹細胞動員因子による非瘢痕性機能的組織再生誘導医薬開発のための基盤研究	玉井 克人	皮膚科	17,000,000	補委 (財) 千里ライフサイエンス振興財団
医薬品候補となるタンパク質K012の前臨床試験用サンプルの製造	玉井 克人	皮膚科	10,000,001	補委 (財) 千里ライフサイエンス振興財団
下肢静脈瘤に対する硬化療法の可視化に関する研究	菊池 守	形成外科	1,040	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
レチノイン酸を主軸とした皮膚創傷治癒機構の解析	坂井 靖夫	形成外科	9,490	補委 日本学術振興会
(若手B) 移植神経側面への端側縫合における開窓形態の影響	服部 亮	形成外科	1,170,000	補委 文部科学省
(若手B) Nerve predegenerationの軸索再生に対する効果と至適条件の検討	藤山 浩	形成外科	1,820,000	補委 文部科学省
(若手B) P75遺伝子の神経再生における役割と治療への応用	波多 祐紀	形成外科	1,820,000	補委 文部科学省
虚血脳における側副血行路発達促進手段の開発	北川 一夫	神経内科・脳卒中科	1,040	補委 日本学術振興会
脳虚血急性期病態における血管内皮障害の機序解明とその制御法	八木田 佳樹	神経内科・脳卒中科	1,690	補委 日本学術振興会
本邦における筋チャンネル病の実態に関する研究	高橋 正紀	神経内科・脳卒中科	26,000,000	補委 厚生労働省
筋強直性ジストロフィー症の細胞病態に関する研究	佐古田 三郎	神経内科・脳卒中科	1,200,000	補委 国立精神・神経センター
アルツハイマー病の関連遺伝子探索研究	武田 雅俊	神経科・精神科	15,000	補委 文部科学省
統合失調症脆弱性遺伝子ディスバインジンの遺伝子改変動物を用いた分子病態解析	橋本 亮太	神経科・精神科	3,800	補委 文部科学省
家族性認知症関連蛋白の重合・蓄積・分解過程の検討と治療薬開発	武田 雅俊	神経科・精神科	9,490	補委 日本学術振興会
近赤外分光法による脳血流同時測定を用いた精神疾患の経頭蓋磁気刺激治療法の開発研究	岩瀬 真生	神経科・精神科	910	補委 日本学術振興会
小胞体分子シャペロン誘導剤のアルツハイマー病治療への応用研究	工藤 喬	神経科・精神科	1,300	補委 日本学術振興会
アミロイドベータの分解を促進する方法の開発	田上 真次	神経科・精神科	1,560	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
アルツハイマー病治療薬候補NSAIDのアミロイドワクチンへの作用と抗炎症効果	森原 剛史	神経科・精神科	1,300	補委 日本学術振興会
認知症性疾患の神経変性メカニズムにおけるRNA・蛋白相互作用の関与	田中 稔久	神経科・精神科	1,170	補委 日本学術振興会
脳磁図のガンマ帯域活動解析による統合失調症の脳部位間ネットワーク異常の検討	石井 良平	神経科・精神科	910	補委 日本学術振興会
眼球運動計測および近赤外光脳機能計測を用いた子どもの心の発達障害に関する研究	喜多村 祐里	神経科・精神科	2,990	補委 日本学術振興会
精神疾患脆弱性遺伝子と中間表現型に基づく新しい診断法・治療法の開発に関する研究	武田 雅俊	神経科・精神科	22,000,000	補委 厚生労働省
リン酸化タウの凝集阻害及び分解促進を標的とした新しいアルツハイマー病の根本治療に関する研究	武田 雅俊	神経科・精神科	15,000,000	補委 厚生労働省
アルツハイマー病病理過程の分子レベル基盤研究と発症リスク遺伝子の機能解析およびそれらの融合	武田 雅俊	神経科・精神科	140,000,000	補委 (独) 医薬基盤研究所
意欲と学習に対する環境・遺伝因子の影響とそのメカニズムの解明	橋本 亮太	神経科・精神科	1,950,000	補委 (独) 科学技術振興機構
統合失調症発症脆弱性因子Dysbindinの機能解析	橋本 亮太	神経科・精神科	3,900,000	補委 (独) 科学技術振興機構
(若手B) プレパルスインヒビションによる統合失調症の分子・認知・生理学的病態解明の研究	高橋 秀俊	神経科・精神科	2,730,000	補委 文部科学省
局所脳律動変化にもとづいた言語機能局在同定と言語機能再建	平田 雅之	脳神経外科	2,080	補委 日本学術振興会
3テスラ-MRIによるマルチテンソル・トラクトグラフィーの臨床応用とその検証	橋本 直哉	脳神経外科	1,560	補委 日本学術振興会
てんかんモデルに対する緩和外科治療の作用機序の解明-PETイメージを用いて	貴島 晴彦	脳神経外科	2,210	補委 日本学術振興会
悪性神経膠腫における新規癌幹細胞マーカー同定と分子標的治療への試み	香川 尚己	脳神経外科	1,950	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脊髄損傷に対する自家嗅粘膜移植による再生治療	岩月 幸一	脳神経外科	900	補委 日本学術振興会
難知性神経因性疼痛に対する大脳一次運動野刺激の多施設共同研究：継続的反复的経頭蓋磁気刺激による効果判定とメカニズム解析	齋藤 洋一	脳神経外科	26,000,000	補委 厚生労働省
日本の特長を活かしたBMIの統合的研究開発	吉峰 俊樹	脳神経外科	38,000,000	補委 文部科学省
次世代医療機器評価指標作成事業 ニューロモジュレーション分野	吉峰 俊樹	脳神経外科	6,000,000	補委 国立医薬品食品衛生研究所
(挑戦の萌芽)PET-MRI同軸撮影による脳移植細胞の非侵襲画像追跡法の開発	沖田 典子	脳神経外科	1,800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
(若手B)レーザースペックル血流計を用いた脳虚血巣周辺領域の血流変化イメージング	中村 元	脳神経外科	2,990,000	補委 文部科学省
(若手B)悪性グリオーマに対するWT1免疫療法における免疫応答の解析	千葉 泰良	脳神経外科	2,210,000	補委 文部科学省
(若手B)Affibodyを用いた中枢神経系悪性腫瘍のHER-2受容体発現の画像化	木下 学	脳神経外科	2,730,000	補委 文部科学省
(若手B)経頭蓋磁気刺激にリアルタイム脳律動解析と機械学習を応用した言語機能解析	後藤 哲	脳神経外科	3,135,600	補委 文部科学省
(基盤B分担)悪性グリオーマにおけるWT1免疫療法・化学療法併用新規集学的治療法の開発	木下 学	脳神経外科	260,000	補委 文部科学省
核小体低分子RNAを用いた神経因性疼痛治療薬の開発	中江 文	麻酔科	1,950	補委 文部科学省
ポリタングステン酸のLGIC受容体に対する相互作用	植田 一吉	麻酔科	1,300	補委 文部科学省
神経障害性疼痛に関連する情動異常の脳内発現機序と疼痛増悪機序の解明	真下 節	麻酔科	7,800	補委 日本学術振興会
麻酔薬の神経保護メカニズム：MAPキナーゼとカルシウム動態からの解明	澁田 達史	麻酔科	1,040	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
揮発性全身麻酔薬の副作用の分子機構：モーター蛋白1分子レベルでの解明	宮本 善一	麻酔科	780	補委 日本学術振興会
siRNAによる遺伝子発現抑制系を用いたプレコンディショニングの機序の解明	上林 卓彦	麻酔科	1,560	補委 日本学術振興会
デコイ型核酸の遺伝子導入による神経因性疼痛の病態解明と治療法の開発	阪上 学	麻酔科	2,210	補委 日本学術振興会
脂肪組織由来ストローマ細胞による急性肺傷害の治療	藤野 裕士	麻酔科	1,690	補委 日本学術振興会
(若手B) 複合性局所疼痛症候群の高次運動機能障害評価とその機構解明	植松 弘進	麻酔科	1,430,000	補委 文部科学省
一過性遺伝子導入システムによる妊娠高血圧症候群マウスの作成と解析	香山 晋輔	産科・婦人科	2,340	補委 文部科学省
卵巣癌における抗血管新生治療耐性化機構の解明	馬淵 誠士	産科・婦人科	1,690	補委 文部科学省
着床機能異常を検出する生理的パラメーターの創出	木村 正	産科・婦人科	10,010	補委 日本学術振興会
胎児付属物由来間葉系幹細胞を用いた周産期脳障害の新しい治療戦略	金川 武司	産科・婦人科	1,170	補委 日本学術振興会
生体内分解性高分子微粒子を用いた子宮局所におけるドラッグデリバリーシステムの開発	木村 正	産科・婦人科	1,600	補委 日本学術振興会
卵巣癌における、腫瘍の低酸素微小環境がもたらす抗瘍剤耐性機構の解明	林 正美	産科・婦人科	1,365	補委 日本学術振興会
(若スタ) 着床不全不妊症に対する自己マクロファージを用いた治療法の検討	中村 仁美	産科・婦人科	1,560,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
心筋細胞分化誘導システムを用いた肥大型心筋症発症機構の解明	岡田 陽子	小児科	3,120	補委 文部科学省
線維芽細胞成長因子23を鍵分子とする代謝性骨疾患の診断・病態解析	大藪 恵一	小児科	1,950	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
探索医療に基づく甲状腺ホルモントランスポーターの細胞特異的機能の解明	難波 範行	小児科	1,950	補委 日本学術振興会
核蛋白質ラミン代謝異常症に対する治療効果の検討	三善 陽子	小児科	2,080	補委 日本学術振興会
ムコリビドーシスの病態解明と治療法の開発	酒井 規夫	小児科	3,250	補委 日本学術振興会
肝不全新規治療標的としての肝特異的アミノ酸トランスポーターSNAT4の機能解析	近藤 宏樹	小児科	1,430	補委 日本学術振興会
多面的なアプローチによる小児睡眠評価法の開発	谷池 雅子	小児科	800	補委 日本学術振興会
大阪兵庫地域における多因子病としての小児循環器病の予防に向けた遺伝環境要因の解明研究	小垣 滋豊	小児科	500,000	補委 国立循環器病センター
小児科女性医師の育児・復帰支援に関する研究	三善 陽子	小児科	2,500,000	補委 国立成育医療センター
(若スタ) Wnt阻害因子sFRP3による側頭葉てんかんの新たな治療方法の開発	北畠 康司	小児科	1,560,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
前立腺炎によるマウス前立腺癌モデルの確立	中井 康友	泌尿器科	2,210	補委 文部科学省
小児癌治療後の男性不妊症に関する研究	奥山 明彦	泌尿器科	9,620	補委 日本学術振興会
ヒト性欲障害発現機構の包括的解析	辻村 晃	泌尿器科	130	補委 日本学術振興会
前立腺発癌過程における慢性炎症の影響と自然免疫細胞の役割に関する研究	野々村 祝夫	泌尿器科	1,300	補委 日本学術振興会
前立腺癌におけるニッチ細胞の同定および癌幹細胞支持機構の解明	中山 雅志	泌尿器科	1,900	補委 日本学術振興会
核磁気共鳴画像による肝細胞膜タンパク質発現の生体イメージングに関する基礎的検討	大西 裕満	放射線診断科	2,600	補委 文部科学省



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
コンピュータ断層画像を用いた肺リモデリング評価用バイオマーカーの創出	富山 憲幸	放射線診断科	910	補委 日本学術振興会
(若手B) 間質性肺炎合併肺癌症例における間質性肺炎の放射線学的・病理学的評価に関する研究	澄川 裕充	放射線診断科	1,040,000	補委 文部科学省
「先端放射線治療技術パッケージ」によるミニマムリスク放射線治療機器開発イノベーション	井上 武宏	放射線診断科	9,982,000	補委 厚生労働省
粒子線がん治療に係る人材育成プログラム	井上 武宏	放射線診断科	5,700,000	補委 文部科学省
新しい前立腺癌リスク分類による治療戦略最適化の試み	吉岡 靖生	放射線治療科	910	補委 文部科学省
前立腺癌に対する放射線照射による急性期低酸素状態の経時的解析	磯橋 文明	放射線治療科	3,900	補委 文部科学省
多施設間における放射線治療機器の包括的精度向上のための基盤構築	井上 武宏	放射線治療科	1,950	補委 日本学術振興会
一体型PET-MRI装置による脳虚血時の脳循環代謝研究	下瀬川 恵久	核医学診療科	2,990	補委 日本学術振興会
PET/MRI一体型装置の概念設計とソフトウェアの開発	畑澤 順	核医学診療科	40,000,000	補委 (独) 医薬基盤研究所
生体微小領域の機能画像を超高解像度で断層撮像する技術の実用化	畑澤 順	核医学診療科	917,700	補委 近畿経済産業局
SPECT定量化診断法における施設間再現性の評価法の開発に関する研究	畑澤 順	核医学診療科	1,700,000	補委 国立循環器病センター
PET認知症診断薬の製造環境整備と臨床応用に関する研究	下瀬川 恵久	核医学診療科	3,000,000	補委 国立長寿医療センター
患者検体結果を用いた新規の精度管理法の開発と汎用化に向けた研究	巽 圭太	臨床検査部	650	補委 日本学術振興会
甲状腺乳頭癌を診断する新規マーカーの測定法の開発と新しい治療法への応用	中田 幸子	臨床検査部	17,000,000	補委 (財) 千里ライフサイエンス振興財団

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
(若手A)心筋細胞におけるクロマチンリモデリング制御機構の解明と細胞機能維持への試み	朝野 仁裕	臨床検査部	1,496,967	補委 文部科学省
(基盤C)神経因性疼痛モデルにおけるセロトニン受容体(5HT-2C)のRNA編集の効果	高階 雅紀	手術部	910,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
(若手B)不整脈制御タンパクの同定と揮発性麻酔薬の作用	岩崎 光生	手術部	3,250,000	補委 文部科学省
(若手B)体幹部悪性腫瘍の評価におけるPET-MRI融合の実用性・有用性に関する検討	巽 光朗	放射線部	1,300,000	補委 文部科学省
がん診療におけるPETの有用性及び至適撮影条件の標準化に関する研究	巽 光朗	放射線部	1,000,000	補委 厚生労働省
(若手B)子宮頸癌発生に関わるp72遺伝子の臨床検体における発現及び細胞株における強制発現	宮武 崇	総合周産期母子医療センター	1,300,000	補委 文部科学省
(若手B)卵巣癌腹膜播種に關与するマイクロRNAの検査とその機能の解析	澤田 健二郎	総合周産期母子医療センター	2,600,000	補委 文部科学省
(基盤C分担)メタボリックシンドロームからみた子宮筋腫に対する新しい治療戦略	澤田 健二郎	総合周産期母子医療センター	130,000	補委 文部科学省
(基盤B)miRNAの痛みのメカニズムへの関与の解明	萩平 哲	集中治療部	2,990,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
(基盤C)集中治療部の呼吸不全、人工呼吸患者における横隔膜筋力の検討	内山 昭則	集中治療部	910,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
(基盤C繰越)集中治療部の呼吸不全、人工呼吸患者における横隔膜筋力の検討	内山 昭則	集中治療部	862,509	補委 文部科学省
腫瘍幹細胞による腫瘍の個性化に関する研究	森井 英一	病理部	3,900	補委 文部科学省
鼻腔NK/T細胞リンパ腫発生要因の系統的解析	青笹 克之	病理部	4,000	補委 文部科学省
腫瘍幹細胞に立脚した悪性リンパ腫の性格付けに関する解析	池田 純一郎	病理部	2,210	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
腫瘍幹細胞に立脚した腫瘍の性格付けに関する研究	森井 英一	病理部	1,690	補委 日本学術振興会
(基盤C)血栓形成のポジティブおよびネガティブ制御機構の解析	富山 佳昭	輸血部	1,690,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
(基盤C分担) $\beta 3$ インテグリンの機能調節に関わる分子のクローニングおよびその解析	富山 佳昭	輸血部	260,000	補委 文部科学省
血液凝固異常症に関する調査研究	富山 佳昭	輸血部	1,500,000	補委 厚生労働省
血小板低値例へのインターフェロン治療法の確立を目指した基礎および臨床的研究	富山 佳昭	輸血部	700,000	補委 厚生労働省
難治性C型肝炎に対する細胞免疫制御に基づく個別化治療の開発	笠原 彰紀	総合診療部	1,170	補委 日本学術振興会
肝胆膵領域の新規バイオマーカーの探索	武田 裕	医療情報部	1,430	補委 日本学術振興会
(基盤C)初期診断の支援システムのための知識収集および処理方法に関する研究	松村 泰志	医療情報部	2,470,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
タイムスタディ等の定量的な検討を踏まえたがん医療における専門スタッフの効果的な配置や支援のあり方に関する研究	松村 泰志	医療情報部	1,100,000	補委 厚生労働省
侵襲時再生応答に関する研究：血管内皮再生からみた新たな治療戦略	小倉 裕司	高度救命救急センター	14,430	補委 日本学術振興会
熱中症に対する新たな臓器障害戦略：骨髄間質細胞移植の有効性	小倉 裕司	高度救命救急センター	1,200	補委 日本学術振興会
(基盤B) 脈絡叢上皮細胞を用いた内在性神経幹細胞の賦活化—中枢神経損傷治療応用を目指して—	松本 直也	高度救命救急センター	4,550,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
(挑戦的萌芽)院内における突然の心停止を予防する方策の検討	入澤 太郎	高度救命救急センター	1,700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
救急医療支援センター運営事業	鎌方 安行	高度救命救急センター	108,595,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
(基盤C)造血幹細胞の増殖・分化におけるエネルギー代謝制御	江副 幸子	未来医療センター	1,950,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
(若手A)細胞移植を模倣した新規心筋再生因子キャリアによる心筋再生治療の確立	齋藤 充弘	未来医療センター	9,750,000	補委 文部科学省
(基盤B分担) 新規脂肪組織由来幹細胞を用いた重症心不全に対する画期的治療法の開発	李 千萬	未来医療センター	650,000	補委 文部科学省
心筋組織再生を物理的・機能的に促進する新規再生治療用デバイスの開発	齋藤 充弘	未来医療センター	5,000,000	補委 厚生労働省
医療機器・医用材料のリスクアセスメント手法開発に関する研究	土屋 利江	未来医療センター	3,050,000	補委 厚生労働省
重症拡張型心筋症へのbridge-to-transplantation/recoveryを目指した新規治療法の開発と実践	澤 芳樹	未来医療センター	301,600,000	補委 厚生労働省
重症拡張型心筋症へのbridge-to-transplantation/recoveryを目指した新規治療法の開発と実践	松山 晃文	未来医療センター	208,000,000	補委 厚生労働省
類骨骨腫に対する経皮的ラジオ波凝固療法に関する研究	名井 陽	未来医療センター	1,000,000	補委 厚生労働省
表皮水疱症の根治的治療法確立に関する研究	江副 幸子	未来医療センター	2,000,000	補委 厚生労働省
ホウ素ナノデバイス型中性子捕捉治療	李 千萬	未来医療センター	6,300,000	補委 厚生労働省
医療連携モデルを基盤とした総合診療系医と領域別専門医の必要数算定法と専門医制度の検討	田倉 智之	未来医療センター	800,000	補委 厚生労働省
3次元再生軟骨・骨組織における安全性と有効性の確立	名井 陽	未来医療センター	500,000	補委 厚生労働省
先端的循環器系治療機器の開発と臨床応用、製品化に関する横断的・統合的研究	澤 芳樹	未来医療センター	23,176,991	補委 厚生労働省
細胞シートによる再生医療実現プロジェクト	澤 芳樹	未来医療センター	26,145,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
TR実践のための戦略的高機能拠点整備	澤 芳樹	未来医療センター	313,289,139	補 委 文部科学省
卵巣癌を対象とした分子標的治療薬BK-UMの臨床開発	澤 芳樹	未来医療センター	2,596,750	補 委 文部科学省 (微研分担)
再生医療評価研究開発事業/心筋再生治療研究開発	澤 芳樹	未来医療センター	137,628,750	補 委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
間葉系幹細胞を用いた再生医療早期実用化のための橋渡し研究	澤 芳樹	未来医療センター	56,282,100	補 委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
細胞シートによる多施設臨床研究を目指した基盤システムの構築	澤 芳樹	未来医療センター	132,497,050	補 委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
複合組織再生技術とコンピューター支援外科技術によるバイオ人工関節の開発	名井 陽	未来医療センター	39,208,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
(基盤B) 大学病院における医療安全・質向上方策の定量的評価に関する研究	中島 和江	中央クオリティマネジメント部	2,600,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
(若手B) vitaminDの糸球体上皮細胞への直接作用を介した腎保護作用の検討	松井 功	血液浄化部	1,170,000	補 委 文部科学省
大学病院連携型高度医療人養成推進事業	笠原 彰紀	卒後教育開発センター	55,800,000	補 委 文部科学省
大学病院連携型高度医療人養成推進事業	笠原 彰紀	卒後教育開発センター	2,000,000	補 委 文部科学省(大阪医科大学より分担)
大学病院連携型高度医療人養成推進事業	笠原 彰紀	卒後教育開発センター	700,000	補 委 文部科学省(滋賀医科大学より分担)
福山型先天性筋ジストロフィーの発症分子機構解明と創薬への応用	谷口 真理子	遺伝子診療部	2,080	補 委 文部科学省
(基盤C) トランスポゾン技術を用いた男性型脱毛症ゲノム領域の機能解明	國府 力	遺伝子診療部	696,672	補 委 独立行政法人日本学術振興会
脳虚血急性期におけるグルタミン酸受容体サブタイプによる細胞応答の差異	佐々木 勉	脳卒中センター	1,430	補 委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
タイムスタディ等の定量的な検討を踏まえたがん医療における専門スタッフの効果的な配置や支援のあり方に関する研究	水木 満佐央	化学療法部	800,000	補 委	厚生労働省
(基盤C)がん化学療法による認知機能障害の分子メカニズムの解明とその予防について	谷向 仁	オンコロジーセンター	1,690,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
(若スタ)肺修復及び肺癌発生に対するインターロイキン-6ファミリーサイトカインの役割	木田 博	オンコロジーセンター	1,560,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
安全で高精度な放射線治療を実現する放射線治療体制に関する研究	小泉 雅彦	オンコロジーセンター	1,000,000	補 委	厚生労働省

325

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Cardiol (2009.6 53巻3号)	Effect of intracoronary thrombectomy on 30-day mortality in non-diabetic patients with acute hyperglycemia after acute myocardial infarction	Usami, Masaya	循環器内科
Circ J (2009.4 73巻4号)	Impact of Diabetes Mellitus on Rehospitalization for Heart Failure Among Survivors of Acute Myocardial Infarction in the Percutaneous Coronary Intervention Era	Nakatani, Daisaku	循環器内科
Journal of Hypertension (2009.5 27巻5号)	Cardiac steroidogenesis and glucocorticoid in the development of cardiac hypertrophy during the progression to heart failure	Ohtani, Tomohito	循環器内科
Circ Res (2009.7 105巻1号)	The I{kappa}B kinase {beta}/nuclear factor {kappa}B signaling pathway protects the heart from hemodynamic stress mediated by the regulation of manganese superoxide dismutase expression	Hikoso, Shungo	循環器内科
Biochem Biophys Res Commun (2009.8 385巻4号)	Extracellular protein kinase CK2 is a novel associating protein of Neuropilin-1	Shintani, Yasunori	循環器内科
J Mol Cell Cardiol (2009.4 46巻4号)	PKA rapidly enhances proteasome assembly and activity in in vivo canine hearts	Asai, Mitsutoshi	循環器内科
Circulation (2009.5 119巻19号)	Metformin prevents progression of heart failure in dogs: role of AMP-activated protein kinase	Sasaki, Hideyuki	循環器内科
J Am Coll Cardiol (2009.6 53巻22号)	Natriuretic peptides enhance the production of adiponectin in human adipocytes and in patients with chronic heart failure	Tsukamoto, Osamu	循環器内科
J Hypertens (2009.5 27巻5号)	Cardiac steroidogenesis and glucocorticoid in the development of cardiac hypertrophy during the progression to heart failure	Ohtani, Tomohito	循環器内科
Eur J Clin Pharmacol (2009.7)	Influence of clinical and genetic factors on warfarin dose requirements among Japanese patients	Ohno, Masako	循環器内科
J Mol Cell Cardiol (2010.2 48巻2号)	Activation of MTK1/MEKK4 induces cardiomyocyte death and heart failure	Mizote, Isamu	循環器内科
Hypertens Res (2010.1 33巻3号)	Prognostic factors for progression of early- and late-stage calcific aortic valve disease in Japanese: the Japanese Aortic Stenosis Study (JASS) Retrospective Analysis	Yamamoto, Kazuhiro	循環器内科
J Cardiol (2009.6 53巻3号)	Clinical significance of plasma endothelin-1 level after bosentan administration in pulmonary arterial hypertension	Nakaoka, Yoshikazu	循環器内科
Journal of Lipid Research (2009.5 50巻)	Chylomicron remnants are increased in the postprandial state in CD36 deficiency	Masuda, Daisaku	循環器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
European Journal of Clinical Investigation (2009.8 39巻8号)	Ezetimibe improves postprandial hyperlipidaemia in patients with type IIb hyperlipidaemia	Masuda,Daisaku	循環器内科
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis (2009.6 16巻3号)	Impaired Insulin Secretion on Four Tangier Disease Patients with ABCA1 Mutations	Koseki,Masahiro	循環器内科
Clinica Chimica Acta (2009.9 410巻)	Differential reactivity of four homogeneous assays for LDL-cholesterol in serum to intermediate-density lipoproteins and dense LDL: Comparisons with the Friedewald equation	Yamashita,Shizuya	循環器内科
Transplant Proc 41(1):52-54; 2009.	Bcl-2 protects tubular epithelial cells from ischemia/reperfusion injury by dual mechanisms	Isaka, Y et al	腎臓内科
NDT Plus 2(2):152-154;2009	Severe adverse effects of 5-fluorouracil in S-1 were lessened by haemodialysis due to elimination of the drug.	Inoue,K et al	腎臓内科
Peritoneal Dialysis International (in press); 2009	Campylobacter fetus peritonitis in a patient with an unused embedded subcutaneous peritoneal catheter.	Inoue,K et al	腎臓内科
NDT Plus 2(3): 259-260; 2009	Massive and rapid left ventricular calcification.	Iwatani,H et al	腎臓内科
Nephrol Dial Transplant 24(3):825-828; 2009.	Exaggerated compensatory response to acute respiratory alkalosis in panic disorder is induced by increased lactic acid production.	Ueda, Y et al	腎臓内科
Clin Exp Nephrol 13(4):355-360; 2009.	Negative effects of anemia on quality of life and its improvement by complete correction of anemia by administration of recombinant human erythropoietin in posttransplant patients	Kawada, et al	腎臓内科
Nat Immunol 10(9):965-972; 2009.	TANK is a negative regulator of Toll-like receptor signaling and is critical for the prevention of autoimmune nephritis.	Kawagoe, T et al	腎臓内科
Clinical and Experimental Nephrology (in press); 2009	Exercise-induced acute kidney injury with reversible posterior leukoencephalopathy syndrome.	Kimura,T et al	腎臓内科
Am J Kidney Dis 53(6):A37-39; 2009.	Quiz page June 2009: worsening kidney function with a history of urolithiasis.	Kimura, T et al	腎臓内科
Cell Transplant 18(5):627-637; 2009.	Superagonist CD28 antibody preferentially expanded Foxp3-expressing nTreg cells and prevented graft-versus-host diseases.	Kitazawa, Y et al	腎臓内科
Methods Mol Biol 466:251-263; 2009.	In vivo transfer of small interfering RNA or small hairpin RNA targeting glomeruli.	Takabatake, Y et al	腎臓内科
J Am Soc Nephrol 20(8):1714-1723; 2009.	The CXCL12 (SDF-1)/CXCR4 axis is essential for the development of renal vasculature.	Takabatake, Y et al	腎臓内科



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Bone 45(5):949-955; 2009.	The impact of diabetes mellitus on vitamin D metabolism in predialysis patients.	Tanaka, H et al	腎臓内科
Clin Exp Nephrol 13(1):61-65; 2009.	Pharmacokinetics of olmesartan medoxomil in hemodialysis patients: little effect of dialysis upon its pharmacokinetics.	Tanaka, H et al	腎臓内科
Bone 44(4):678-683; 2009.	Serum 25-hydroxyvitamin D as an independent determinant of 1-84 PTH and bone mineral density in non-diabetic predialysis CKD patients.	Tomida, K et al	腎臓内科
Clin Exp Nephrol 13(6):567-570; 2009.	Discrepancy between serum levels of low molecular weight proteins in acute kidney injury model rats with bilateral ureteral obstruction and bilateral nephrectomy.	Tsuda, H et al	腎臓内科
Bone 45 Suppl 1:S19-25; 2009	Usefulness of bone resorption markers in hemodialysis patients.	Hamano, T. et al	腎臓内科
Kidney Int 75(9):915-928; 2009.	Fully phosphorylated fetuin-A forms a mineral complex in the serum of rats with adenine-induced renal failure.	Matsui, I et al	腎臓内科
Nephrol Dial Transplant 24(8):2354-2361; 2009.	Active vitamin D and its analogue, 22-oxacalcitriol, ameliorate puromycin aminonucleoside-induced nephrosis in rats.	Matsui, I et al	腎臓内科
Int Immunopharmacol 9(5):575-581; 2009.	Amelioration of experimental autoimmune encephalomyelitis by curcumin treatment through inhibition of IL-17 production.	Xie, L et al	腎臓内科
Journal of Biomedical Materials Research Part B: Applied Biomaterials.	Histological reaction of sintered nanohydroxyapatite-coated cuff and its fibroblast-like cell hybrid for an indwelling catheter.	Furuzono, T et al	腎臓内科
Blood Purif 28(1):40-46; 2009.	Early plasma exchange for progressive liver failure in recipients of adult-to-adult living-related liver transplants.	Yamamoto, R et al	腎臓内科
Journal of Receptor and Signal Transduction Research 29:94-99; 2009	Kid-1 participates in regulating ERK phosphorylation as a part of the circadian clock output in rat kidney.	Yamamoto, R et al	腎臓内科
Nephrol Dial Transplant 24(12):3686-3694; 2009.	A candidate gene approach to genetic prognostic factors of IgA nephropathy—a result of Polymorphism REsearch to Distinguish genetic factors Contributing To progression of IgA Nephropathy (PREDICT-IgAN).	Yamamoto, R et al	腎臓内科
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol (296):G157-G167, 2009)	Transplantation of basic fibroblast growth factor-pretreated adipose tissue-derived stromal cells enhances regression of liver fibrosis in mice.	Kamada Y	消化器内科
Biochem Biophys Res Commun (378:68-72, 2009)	Delayed liver regeneration after partial hepatectomy in adiponectin knockout mice.	Ezaki H	消化器内科
J Viral Hepat (16:844-852,2009)	Enhanced ability of regulatory T cells in chronic hepatitis C patients with persistently normal alanine aminotransferase levels than those with active hepatitis.	Itose I	消化器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepatol Res 39:432-438, 2009	Effect of interferon $\alpha$ -2b plus ribavirin therapy on incidence of hepatocellular carcinoma in patients with chronic hepatitis.	Kurokawa M	消化器内科
J Gastroenterol 44:601-607, 2009	Factors contributing to antiviral effect of adefovir dipivoxil therapy added to ongoing lamivudine treatment in patients with lamivudine-resistant chronic hepatitis B.	Kurashige N	消化器内科
J Hepatol 50:1155-1162, 2009	Activated liver dendritic cells generate strong acquired immunity in alpha-galactosylceramide treatment.	Sasakawa A	消化器内科
J Med Virol 81:798-806, 2009	Mutations associated with the therapeutic efficacy of adefovir dipivoxil added to lamivudine in patients resistant to lamivudine with type B chronic hepatitis.	Ohkawa K	消化器内科
Hepatol Res 39:724-738, 2009	Adiponectin prevents progression of steatohepatitis in mice by regulating oxidative stress and Kupffer cell phenotype polarization.	Fukushima J	消化器内科
J Gastroenterol 44:864-700, 2009	Lamivudine-to-entecavir switching treatment in type B chronic hepatitis patients without evidence of lamivudine resistance.	Kurashige N	消化器内科
J Clin Gastroenterol 43:995-1000, 2009	Visceral obesity and hypo adiponectinemia are significant determinants of hepatic dysfunction: An epidemiologic study of 3827 Japanese subjects.	Kamada Y	消化器内科
Hepatology 50:1009-1013, 2009	Mcl-1 and Bcl-xL cooperatively maintain integrity of hepatocytes in developing and adult murine liver.	Hikita H	消化器内科
J Gastroenterol 44:834-841, 2009	Restoration of gut motility in Kit-deficient mice by bone marrow transplantation.	Ishii S	消化器内科
J Gastroenterol 44:889-896, 2009	A novel therapeutic strategy with anti-CD9 antibody in gastric cancers.	Nakamoto T	消化器内科
Antivir Ther 14:873-877, 2009	Two types of drug-resistant hepatitis B viral strains emerging alternately and their susceptibility to combination therapy with entecavir and adefovir.	Kurashige N	消化器内科
Cancer Res 69:8050-8057, 2009	Anti-cancer chemotherapy inhibits MICA ectodomain shedding by downregulating ADAM10 expression in hepatocellular carcinoma	Kohga K	消化器内科
Hepatology 50:1972-1980, 2009	BH3-only protein Bid participates in the Bcl-2 network in healthy liver cells.	Hikita H	消化器内科
Cancer Immunol Immunother 59:453-463, 2009	Natural Killer cell is a major producer of interferon $\gamma$ that is critical for the IL-12-induced anti-tumor effect in mice	Uemura A	消化器内科
Curr Med Chem (2009年8月 16巻 24号)	Combination of MafA, PDX-1 and NeuroD is a useful tool to efficiently induce insulin-producing surrogate beta-cells	金藤 秀明	内分泌・代謝内科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Adv Drug Deliv Rev (2009年7月 61巻7-8号)	Role of MafA in pancreatic beta-cells	金藤 秀明	内分泌・代謝内科学
PLoS ONE (2009年9月 4巻9号)	Insulin Gene Expression Is Regulated by DNA Methylation	黒田 暁生	内分泌・代謝内科学
Diabetes Care (2009年5月 32巻5号)	Cumulative effect of oxidative stress-related gene polymorphisms on myocardial infarction in type 2 diabetes	片上 直人	内分泌・代謝内科学
Biochem Biophys Res Commun (2009年4月 379巻4号)	Combined effect of oxidative stress-related gene polymorphisms on atherosclerosis	片上 直人	内分泌・代謝内科学
Diabetes Care (2009年5月 32巻5号)	Association between the connexin37 polymorphism and peripheral arterial disease in subjects with type 2 diabetes	片上 直人	内分泌・代謝内科学
Diabetes Care (2010年2月 33巻2号)	Accumulation of gene polymorphisms related to plaque disruption and thrombosis is associated with cerebral infarction in subjects with type 2 diabetes	片上 直人	内分泌・代謝内科学
Diabetes Res Clin Pract (2010年1月 89巻1号)	Monocyte chemoattractant protein-1 (MCP-1) gene polymorphism as a potential risk factor for diabetic retinopathy in Japanese patients with type 2 diabetes	片上 直人	内分泌・代謝内科学
Endocr J (2009年9月 56巻9号)	Pioglitazone Reduces ER Stress in the Liver: Direct Monitoring of in vivo ER Stress Using ER Stress-activated Indicator Transgenic Mice	吉内 和富	内分泌・代謝内科学
Endocr J (2009年5月 56巻5号)	Role of Copper Ion in the Pathogenesis of Type 2 Diabetes	田中 文子	内分泌・代謝内科学
Diabet Med (2009年6月 26巻6号)	Insulin resistance and endothelial dysfunction in type 2 diabetic patients with non-alcoholic steatohepatitis	川嶋 聡	内分泌・代謝内科学
Cardiovasc Res. (2009 Jul 1;83(1):34-41)	The heart requires glycerol as an energy substrate through aquaporin 7, a glycerol facilitator.	Hibuse T	内分泌・代謝内科学
Biochem Biophys Res Commun. (2009 Apr 24;382(1):183-8)	Adiponectin ameliorates hypoxia-induced pulmonary arterial remodeling.	Nakagawa Y	内分泌・代謝内科学
Handb Exp Pharmacol. (2009;(190):233-49)	Role of aquaporin-7 and aquaporin-9 in glycerol metabolism; involvement in obesity.	Maeda N	内分泌・代謝内科学
Cardiovasc Res. (2009 Oct 1;84(1):164-72)	Blockade of mineralocorticoid receptor reverses adipocyte dysfunction and insulin resistance in obese mice.	Hirata A	内分泌・代謝内科学
Metabolism. (2010 Apr;59(4):520-6.)	Dysregulation of glucose, insulin, triglyceride, blood pressure, and oxidative stress after an oral glucose tolerance test in men with abdominal obesity.	Nakatsuji H	内分泌・代謝内科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cardiovasc Res. (2010 Jun 1;86(3):471-7)	Increment and Impairment of Adiponectin in Renal Failure.	Komura N	内分泌・代謝内科学
Biochem Biophys Res Commun.(2010 Jan 29;392(1):100-5)	Reciprocal regulation of natriuretic peptide receptors by insulin in adipose cells.	Nakatsuji H	内分泌・代謝内科学
Granneman p129-147	"Adipose Tissue in Health and Disease" WILEY-BLACKWELLpublishers Chapter 8: Aquaporins and Adipose Tissue Lesson from Discoveryto Physiopathology and to the Clinic of AQP7 (Aquaporin adipose) Editor by Todd Leff and James G.	Kishida K.	内分泌・代謝内科学
Biochem Biophys Res Commun.(2010 Jan 29;392(1):29-35. Epub 2009 Dec 30.)	Identification of a new secretory factor, CCDC3/Favine, in adipocytes and endothelial cells.	Kobayashi S	内分泌・代謝内科学
医学のあゆみ(229巻7号 Page519-522(2009.05))	メタボリックシンドロームの病態とFat ROS 肥満脂肪組織の病態におけるROSの病態的意義	福原淳範	内分泌・代謝内科学
見直されたビッグアナイト<改訂版>(74-78, 2009)	血糖降下以外に期待されるメホルミンの臨床効果	大月道夫	内分泌・代謝内科学
新薬と臨床(58:94-100, 2009)	グリメピリド長期投与2型糖尿病患者の臨床的特徴.	大月道夫	内分泌・代謝内科学
J Immunol 182:6485-6493, 2009	Tetraspanin CD9 negatively reulates lipopolysaccharide-induced macrophage activation and lung inflammation	鈴木真優美	呼吸器内科
呼吸 29 (2):194-210, 2010	分子オーガナイザ CD9 と CD81 ダブルノックアウトマウスにおける肺気腫と骨量減少	立花功	呼吸器内科
臨床免疫・アレルギー科 52 (2):214-220, 2010	マクロファージの活性化における CD9 (tetraspanin) の役割	立花功	呼吸器内科
International Review of Asthma & COPD 11 (4) 31-36, 2009	COPD モデルとしてのテトラスパニン CD9/CD81 ダブルノックアウトマウスの解析	武田吉人	呼吸器内科
Allergol Internatinal (2009.5, 58(3))	Preventative effect of a flavonoid, enzymatically modified isoquercitrin on ocular symptoms of Japanese cedar pollinosis	Hirano T, et al	免疫アレルギー内科
Mod Rheumatol (2009.6, 19)	Imatinib mesylate inhibited rat adjuvant arthritis and PDGF-dependent growth of synovial fibroblast via interference with Akt signaling pathway.	Terabe F, et al	免疫アレルギー内科
Ann Rheum Dis (2009.7, 68)	Rapid improvement of AA amyloidosis by humanized anti-interleukin-6 receptor antibody treatment.	Nishida S, et al	免疫アレルギー内科
Arthritis Rheum (2009.12, 61)	Successful treatment of eactive arthritis with a humanized anti-interleukin-6 receptor antibody, tocilizumab.	Tanaka T, et al	免疫アレルギー内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int Arch Allergy Immunol (2009.3 149)	Effect of enzymatically modified isoquercitrin, a flavonoid, on symptoms of Japanese cedar pollinosis: a randomized double-blind placebo-controlled trial.	Kawai M, et al.	免疫アレルギー内科
Rheumatology (2009.3, 48)	Sustained response to tocilizumab, anti-interleukin-6 receptor antibody in two patients with refractory relapsing polychondritis.	Kawai M, et al.	免疫アレルギー内科
Joint Bone Spine (2009.1 76)	Etanercept improved primary biliary cirrhosis associated with rheumatoid arthritis.	Ogata A, et al	免疫アレルギー内科
Antimicrob Agents Chemother. (2009;53(10):4559-4562)	Antifungal activity of micafungin in serum.	Ishikawa J, Maeda T, Matsumura I, Yasumi M, Ujii H, Masaie H, Nakazawa T, Mochizuki N, Kishino S, Kanakura Y	血液・腫瘍内科
J Thromb Haemost. (2009;7(8):1373-1383)	Presence of platelet-associated anti-glycoprotein (GP)VI autoantibodies and restoration of GPVI expression in patients with GPVI deficiency.	Akiyama M, Kashiwagi H, Todo K, Moroi M, Berndt MC, Kojima H, Kanakura Y, Tomiyama Y	血液・腫瘍内科
Blood. (2009;113(21):5304-5313)	Integrin-linked kinase associated with integrin activation.	Honda S, Shirotani-Ikejima H, Tadokoro S, Maeda Y, Kinoshita T, Tomiyama Y, Miyata T	血液・腫瘍内科
Hypertension Research (2009.4/Vol.32 No.4)	Relationship between the achieved blood pressure and the incidence of cardiovascular events in Japanese hypertensive patients with complications:a sub-analysis of the CASE-J trial.	栗木宏実	老年・高血圧内科
Hypertension Research (2009.4/Vol.32 No.4)	Fas Promoter region gene polymorphism is associated with an increased risk for myocardial infarction.	竹村幸宏	老年・高血圧内科
Endocrine Journal (2009.4/Vol.56 No.2)	A novel mouse model for type 2 diabetes and non-alcoholic fatty liver disease:spontaneous amelioration of diabetes by augmented beta cell mass.	藤澤智巳	老年・高血圧内科
Journal of Molecular and Cellular Cardiology (2009.7/Vol.47 No.1)	Macrophage inflammatory protein-1 $\beta$ induced cell adhesion with increased intracellular reactive oxygen species.	大石 充	老年・高血圧内科
Hypertension Research (2010.3/Vol.33 No.3)	Association of gene polymorphism of the fat-mass and obesity-associated gene with insulin resistance in Japanese.	神出 計	老年・高血圧内科
Surg Today. 2009;39(2):133-6.	Combined autologous cellular cardiomyoplasty using skeletal myoblasts and bone marrow cells for human ischemic cardiomyopathy with left ventricular assist system implantation: report of a case.	Sawa Y.他	心臓血管外科
J Thorac Cardiovasc Surg. 2009 Aug; 138(2):460-7.	Skeletal myoblast sheet transplantation improves the diastolic function of a pressure-overloaded right heart.	Sawa Y.他	心臓血管外科
J Heart Lung Transplant. 2009 Sep; 28(9):981-3.	Bench replacement of donor aortic valve before orthotopic heart transplantation.	Sawa Y.他	心臓血管外科
J Artif Organs. 2009;12(1):58-60.	Long-term medical control of inflow cuff infection in a patient with a left ventricular assist system.	Sawa Y.他	心臓血管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Artif Organs. 2009;12(1):27-34.	Fifteen-year experience with Toyobo paracorporeal left ventricular assist system.	Sawa Y.他	心臓血管外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2009 Apr;15(2):93-7.	Percutaneous cardiopulmonary support after acute myocardial infarction at the left main trunk.	Sawa Y.他	心臓血管外科
J Artif Organs. 2009;12(2):123-30. Epub 2009 Jun 18	Transdifferentiation of human adipose tissue-derived stromal cells into insulin-producing clusters.	Sawa Y.他	心臓血管外科
J Artif Organs 2009;12:187-193.	Impact of synovial membrane-derived stem cell transplantation in a rat model of myocardial infarction.	Sawa Y.他	心臓血管外科
Tissue Eng Part C Methods. 2009 Oct 19. [Epub ahead of print]	Properties of Hepatocyte-like Cell Clusters Derived from human adipose tissue-derived mesenchymal stem cells.	Sawa Y.他	心臓血管外科
J Thorac Cardiovasc Surg. 2009 Oct;138(4):985-93	Layered implantation of myoblast sheets attenuates adverse cardiac remodeling of the infarcted heart.	Sawa Y.他	心臓血管外科
Ann Thorac Surg. 2009 Oct;88(4):1269-76.	Newly developed tissue-engineered material for reconstruction of vascular wall without cell seeding.	Sawa Y.他	心臓血管外科
Tissue Eng Part C Methods. 2009 Jul 22. [Epub ahead of print]	Cardiomyoblast-like cells differentiated from human adipose tissue-derived mesenchymal stem cells improve left ventricular dysfunction and survival in a rat myocardial infarction model.	Sawa Y.他	心臓血管外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2009 Jul;57(7):357-62. Epub 2009 Jul 14	Prediction of postoperative hepatic dysfunction after cardiac surgery in patients with chronic congestive heart failure.	Sawa Y.他	心臓血管外科
J Thorac Cardiovasc Surg. 2009 Jul;138(1):46-52; discussion 52-3.	Hybrid endovascular aortic arch repair using branched endoprosthesis: the second-generation "branched" open stent-grafting technique.	Sawa Y.他	心臓血管外科
Ann Thorac Surg. 2009 Jul;88(1):16-22	Arch aneurysm repair with long elephant trunk: a 10-year experience in 111 patients.	Sawa Y.他	心臓血管外科
Surg Today	Biological implications of thymectomy for myasthenia gravis.	奥村明之進	呼吸器外科
Cancer	Postoperative radiation therapy after complete resection of thymoma has little impact on survival.	内海朝喜	呼吸器外科
Autoimmunity	Regulation of Th-POK and Runx3 in T cell development in human thymoma	徳永俊照	呼吸器外科
Lung Cancer	Rapid diagnosis of lymph node metastasis in lung cancer with loop-mediated isothermal amplification assay using carcinoembryonic antigen-mRNA.	前田 純	呼吸器外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Pathol.	Tumorigenic Role of Orphan Nuclear Receptor NROB1 in Lung Adenocarcinoma.	小田知文	呼吸器外科
Biochem Biophys Res Commun.	Cyclophilin D-dependent mitochondrial permeability transition is not involved in neurodegeneration in mnd2 mutant mice.	出口 寛	呼吸器外科
BBRC(25:665-666, 2010)	Long-term culture following ES-like gene-induced reprogramming elicits an aggressive phenotype in mutated cholangiocellular carcinoma cells	Nagai K	消化器外科1
PNAS107(1:40-45, 2009)	Defined factors induced reprogramming of gastrointestinal cancer cells	Miyoshi N	消化器外科1
BBRC (390(3): 1061-1065, 2009)	Epithelial-mesenchymal transition with expression of SNAI1-induced chemoresistance in colorectal cancer	Hoshino H	消化器外科1
BrJ Cancer (101:1664-1670, 2009)	Abnormal expression of TRIB3 in colorectal cancer: a novel marker for prognosis	Miyoshi N	消化器外科1
Transplantation (88(9):1123-1130, 2009)	Biliary reconstruction in living donor liver transplantation: technical invention and risk factor analysis for anastomotic stricture	Marubashi S	消化器外科1
Oncogene(28(32): 2903-2909, 2009)	Significance of RRM1 and ERCC1 expression in resectable pancreatic adenocarcinoma	Akita H	消化器外科1
J Surg Oncol(100:657-662, 2009)	Impact of postoperative irradiation after non-curative resection of hilar biliary cancer	Kobayashi S	消化器外科1
Surg Endosc(2010)	Risk factors for postoperative delirium in elderly patients with colorectal cancer.	Tei M	消化器外科1
Hepatogastroenterology( 56 1439-1444, 2009)	A safe protocol of intermittent hilar vascular clamping for hepatic resection in cirrhosis	Nagano H	消化器外科1
Surg Endosc(2010)	Laparoscopic lymph node dissection around the inferior mesenteric artery with preservation of the left colic artery	Sekimoto M	消化器外科1
Anticancer Res. 2009 Oct;29(10):4211-5.	Induction chemotherapy with docetaxel, 5-FU and CDDP (DFP) for advanced gastric cancer.	山本和義	消化器外科
J Surg Oncol. 2009 Nov 1;100(6):442-6.	Salvage esophagectomy after definitive chemoradiotherapy for thoracic esophageal cancer.	宮田博志	消化器外科
Int J Oncol. 2009 Aug;35(2):265-71	The feasibility of using biopsy samples from esophageal cancer for comprehensive gene expression profiling. The feasibility of using biopsy samples from esophageal cancer for comprehensive gene expression profiling.	本告正明	消化器外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Surg Today. 2009;39(10):888-91. Epub 2009 Sep 27.	A suspected [18F]fluorodeoxyglucose positron emission tomography-negative metastatic lymph node successfully diagnosed by laparoscopic staging in esophageal cancer: report of two cases.	竹野 淳	消化器外科
Br J Cancer. 2009 Oct 20;101(8):1298-306. Epub 2009 Sep 15.	Cytokeratins 18 and 8 are poor prognostic markers in patients with squamous cell carcinoma of the oesophagus.	牧野知紀	消化器外科
Cancer. 2009 Jul 15;115(14):3324-34.	Tumor budding in tumor invasive front predicts prognosis and survival of patients with esophageal squamous cell carcinomas receiving neoadjuvant chemotherapy.	宮田博志	消化器外科
Ann Surg Oncol. 2009 Jul;16(7):2058-64. Epub 2009 Apr 30.	Dickkopf-1 expression as a marker for predicting clinical outcome in esophageal squamous cell carcinoma.	牧野知紀	消化器外科
Clinical Cancer Res	Molecular detection of lymph node metastases in breast cancer patients: results of a multicenter trial using the one-step nucleic acid amplification assay (15(8):2879-2884, 2009)	Tamaki Y et al.	乳腺内分泌外科
Clinical Cancer Res	Association of breast cancer stem cells identified by aldehyde dehydrogenase 1 expression with resistance to sequential Paclitaxel and epirubicin-based chemotherapy for breast cancers (15(12):4234-4241, 2009)	Tanei T et al.	乳腺内分泌外科
Cancer	Genetic polymorphisms of CYP2D6 10 and CYP2C19 2, 3 are not associated with prognosis, endometrial thickness, or bone mineral density in Japanese breast cancer patients treated with adjuvant tamoxifen (115(5):952-961, 2009)	Okishiro M et al.	乳腺内分泌外科
Pediatr Surg Int (2010 Feb;26(2):179-85)	In vitro construction of scaffold-free cylindrical cartilage using cell sheet-based tissue engineering.	Tani Gakuto	小児外科
Transpl Int (2010 Apr 1;23(4):424-31)	A newly cloned pig dolichyl-phosphate mannosyl-transferase for preventing the transmission of porcine endogenous retrovirus to human cells.	Yamamoto Aki	小児外科
Ophthalmology (2009 147巻)	Angiographic changes after bevacizumab.	Ikuno Y	Ophthalmology
American Journal Of Ophthalmol ( 2009;148巻)	Long-term results of intravitreal bevacizumab injection for choroidal neovascularization secondary to angioid streaks.	Sawa M	Ophthalmology
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. (2009;247巻)	Macular autofluorescence in eyes with cystoid macula edema, detected with 488 nm-excitation but not with 580 nm-excitation.	Gomi F	Ophthalmology
Ophthalmology (2009;116巻)	Microincision vitrectomy surgery and intravitreal bevacizumab as a surgical adjunct to treat diabetic traction retinal detachment.	Oshima Y	Ophthalmology
Ophthalmology (2009;116巻)	Foveal microstructure and visual acuity after retinal detachment repair: Imaging analysis by fourier-domain optical coherence tomography.	Wakabayashi T	Ophthalmology
Jpn J Ophthalmol (2009;53巻)	Severe Methicillin-Resistant Staphylococcus aureus Infection After Multilayer Amniotic Membrane Transplantation.	Hori Y,	Ophthalmology



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ophthalmology (2009;116巻)	Vitreous levels of erythropoietin and vascular endothelial growth factor in eyes with retinopathy of prematurity	Sato T	Ophthalmology
Ophthalmology (2009;116巻)	Simultaneous analyses of twenty-seven cytokines in eyes with retinopathy of prematurity.	Kusaka S	Ophthalmology
American Journal Of Ophthalmology (2009;148巻)	A Hyperdry Amniotic Membrane Patch Using a Tissue Adhesive for Corneal Perforations and Bleb Leaks	Hayashi A	Ophthalmology
Acta Otolaryngologica(20 09年, 129号)	3D analysis of benign positional nystagmus due to cupulolithiasis in posterior semicircular canal	今井 貴夫	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
BMC Developmental Biology	Isolation and characterization of a novel plasma protein, osteoblast induction factor(Obif), associated with osteoblast differentiation.	金本 隆司	整形外科
Arthroscopy	Systematic Review. Cell-Based Therapy in Articular Cartilage Lesions of the Knee	中村 憲正	整形外科
Clinical Biomechanics	Compressive properties of cartilage-like tissues repaired in vivo with scaffold-free, tissue engineered constructs	吉川秀樹	整形外科
Clin Orthop Relat Res	Synthetic Alginate is a Carrier of OP-1 for Bone Induction	南野 勝彦	整形外科
Computer Vision and Image Understanding	3D reconstruction of a femoral shape using a parametric model and two 2D fluoroscopic images	菅野伸彦	整形外科
IEEE Trans Biomed Eng	Computer-assisted preoperative planning for reduction of proximal femoral fracture using 3D-CT data	菅野伸彦	整形外科
J Bone Joint Surg (Am)	Three-Dimensional Kinematics of the Rheumatoid Wrist After Partial Arthrodesis	有光 小百合	整形外科
J Shoulder Elbow Surg	Morphologic analysis of the medullary canal in rheumatoid elbows	後藤 晃	整形外科
J R Soc Interface	Interconnected porous hydroxyapatite ceramics for bone tissue engineering	玉井 宣行	整形外科
Tissue Research	Osteopontin in rheumatoid arthritis synovial cell: Key molecule for B-cell pseudoemperipolesis and IL-6 production	武 靖浩	整形外科
J Arthroplasty epub 2009 Quantitative Evaluation	Three Dimensional Kinematics of the Rheumatoid Wrist After Partial Arthrodesis.	Arimitsu S.	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Hand Surg Am 34(3):415-422, 2009	Interosseous membrane of the forearm: an anatomical study of ligament attachment locations.	Noda K.	整形外科
J Bone Joint Surg Am 91(9):2180-2187	Three-dimensional kinematics of the rheumatoid wrist after partial arthrodesis.	Arimitsu S.	整形外科
Int J Med Robot 5(4):452-457	Accuracy analysis of three-dimensional bone surface models of the forearm constructed from multidetector computed tomography data.	Oka K.	整形外科
Experimental neurology	Methylcobalamin increases Erk1/2 and Akt activities through the methylation cycle and promotes nerve regeneration in a rat sciatic nerve injury model	Okada K.	整形外科
JAAD 60 (4) 595-603, 2009	A randomized double-blind trial of intravenous immunoglobulin for Pemphigus	Katayama I (Amagai M, Ikeda S, Shimizu H)	皮膚科
Hum Pathol 40 (3): 430-434, 2009	Dissociate expression of tuberous sclerosis complex 1 product hamartin in a skin and pulmonary lesion of a tuberous sclerosis complex.	Katayama I (Wataya-Kaneda M)	皮膚科
Journal of Dermatology 36: 563-577, 2009	Guidelines for management of atopic dermatitis	Katayama I (Saeki H, Furue M, Furukawa F)	皮膚科
皮膚病診療 31(3) 357-364, 2009	Fabry病に対する酵素補充療法.	片山一朗 (金田眞理)	皮膚科
メディカル朝日 38 (5):34-37, 2009	寛解をめざした小児アトピー性皮膚炎の日常生活における指導	片山一朗	皮膚科
アレルギー・免疫 16 (12):58-65, 2009	特集:アレルギー疾患のQOL障害 各論 アトピー性皮膚炎患者のQOL ?汗対策/痒み対策を中心に?.	片山一朗 (室田浩之、北場俊)	皮膚科
日皮会誌 119(8): 1515-1534, 2009	日本皮膚科学会ガイドライン アトピー性皮膚炎診療ガイドライン	片山一朗 (古江増隆、佐伯秀久、古川福美)	皮膚科
皮膚の科学 8: Sup12: 595-601, 2009	皮膚のストレス応答から考えるアトピー性皮膚炎の治療指針	片山一朗 (室田浩之、北場俊)	皮膚科
Dermatologic Surgery (2009年10月 35巻 10号)	Near-Infrared Fluorescence Venography: A Navigation System for Varicose Surgery	Mamoru Kikuchi, Ko Hosokawa	形成外科
J Plast Reconstr Aesthet Surg. (2009年12月 6巻 12号)	Dermal vascularity of the auricle: Implications for novel composite grafts.	Tomita K, Hosokawa K, Yano K, Takada A, Kubo T and Kikuchi M	形成外科
J Plast Reconstr Aesthet Surg. (2009年12月 62巻 12号)	Superior Orbital Fissure Syndrome after Repair of Maxillary and Naso-Orbito-Ethmoid Fractures: A Case Report	Fujiwara T, Matsuda K, Kubo T, Tomita K, Yano K, Hosokawa K	形成外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hypertens Res 32: 816-820, 2009	Relationship between Cerebral Blood Flow and Later Cognitive Decline in Hypertensive Patients with Cerebral Small Vessel Disease.	北川一夫	神経内科・脳卒中科
Cerebrovasc Dis 27:91-98, 2009	Cyclooxygenase-2 -765G>C promoter variants are associated with lower carotid plaque echogenicity in Japanese.	古門茂隆	神経内科・脳卒中科
Mov Disord 24(15):2218-24, 2009	A novel method for systematic analysis of rigidity in Parkinson's disease.	遠藤卓行	神経内科・脳卒中科
Muscle Nerve 39(5):666-73, 2009	New mutation of the Na channel in the severe form of potassium-aggravated myotonia.	久保田智哉	神経内科・脳卒中科
Neurologia medico-chirurgica 50:246-250	Immunohistochemical study of multiple inflammatory pseudotumors with both brain and spinal cord involvement-case report	石原 正浩	脳神経外科
Clinical medicine Insights: Arthritis and Musculoskeletal Disorders 3:1-5	Intractable chronic low-back pain caused by ligamentopathy treated using a spinous process plate (S-plate)	岩月 幸一	脳神経外科
Eur Spine J 19 Suppl2:S140-3	Incarcerated herniation of the cervical spinal cord after laminectomy for an ossification of the yellow ligament	大西 諭一郎	脳神経外科
Neuroimage 49:2564-2569	Modulation of neuronal activity after spinal cord stimulation for neuropathic pain; H(2)15O PET study.	貴島 晴彦	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo)49:313-315	Spontaneous Regression of a Spinal Extradural Arteriovenous Fistula After Delivery by Cesarean Section. -Case Report-	木下 学	脳神経外科
Neuroimage 45:312-318	Use of fractional anisotropy for determination of the cut-off value in 11C-methionine positron emission tomography for glioma.	木下 学	脳神経外科
J Neurooncol 96:409-415	Diffusion tensor-based tumor infiltration index cannot discriminate vasogenic edema from tumor-infiltrated edema	木下 学	脳神経外科
J Neuro-oncol 99: 95-101	Immunohistological profiling by B-cell differentiation status of primary central nervous system lymphoma treated by high-dose methotrexate chemotherapy.	木下 学	脳神経外科
Contrast Media Mol Imaging 5:18-22	MR molecular imaging of HER-2 in a murine tumor xenograft by SPIO labeling of anti-HER-2 antibody.	木下 学	脳神経外科
J Neuro-oncology 97:445-450	A surgically treated case of Lhermitte-Duclos disease with a precise natural history and high uptake of FDG on PET.	後藤 雄子	脳神経外科
Brain stimulation (in press)	Quantitative analysis of phosphenes induced by navigation-guided repetitive transcranial magnetic stimulation	谷 直樹	脳神経外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Jpn J Clin Oncol 40:395-403	Effects of concomitant temozolomide and radiation therapies on WT1-specific T cells in malignant glioma.	千葉 泰良	脳神経外科
Brain Nerve.61:805-814	Immunotherapy targeting the Wilms' tumor 1 gene product for patients with malignant brain tumors	橋本 直哉	脳神経外科
J Neurosurg. 112:528-538	Language dominance and mapping based on neuromagnetic oscillatory changes: comparison with invasive procedures.	平田 雅之	脳神経外科
J Neurosurg.112:528- 538	Language dominance and mapping based on neuromagnetic oscillatory changes: comparison with invasive procedures.	平田 雅之	脳神経外科
Pain Research25(1):1-8	The mechanism of repetitive trans cranial magnetic stimulation for central post-stroke pain	細見 晃一	脳神経外科
Functional Neurosurgery 48:139-146	Efficacy of spinal cord stimulation for central post-stroke pain	モハメド アリ	脳神経外科
Neurosurgery (in press)	Spinal Cord Stimulation for Central Post-stroke Pain	モハメド アリ	脳神経外科
Epilepsy Res.87:12- 17	Movement induces suppression of interictal spikes in sensorimotor neocortical epilepsy.	柳澤 琢史	脳神経外科
Neuroimage 45:1099-1106	Neural decoding using gyral and intrasulcal electrocorticograms.	柳澤 琢史	脳神経外科
Minimally Invasive Neurosurgery 53: 77-9	Removal of a Cavernous Hemangioma in the Orbital Apex via the Endoscopic Transnasal Approach: A case report	芳村 憲泰	脳神経外科
Pediatr Anesth 19(5): 470-476, 2009	Pulse oximetric thresholds for tonsillectomy and adenotomy in children: Significance of 1-2% decline in oxyhemoglobin saturation.	Yoshikazu MIYAMOTO, et al.	麻酔・集中治療医学
Med Sci Monit 15(1):MT 1-4, 2009	Influence of endotracheal tube bore on tidal volume during high frequency oscillatory ventilation: A model lung study.	Osamu HIRAO, et al.	麻酔・集中治療医学
Anesth Analg 109(2): 434-40, 2009	An expiratory assist during spontaneous breathing can compensate for endotracheal tube resistance.	Akinori UCHIYAMA, et al.	麻酔・集中治療医学
Med Sci Monit 15(8): BR207-12, 2009	Permissive hypercapnia, instituted via reduction of pressure amplitude on pulmonary tissue protection during high frequency oscillatory ventilation, is not protective in a rat model of acid-induced lung injury.	Yasuki FUJITA, et al.	麻酔・集中治療医学
Gynecologic Oncology113:200- 204, 2009	The activity of carboplatin and paclitaxel for recurrent cervical cancer after definitive radiotherapy	Mabuchi S, et al.	産科・婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Bone Miner Metab 27:175-181, 2009 J Bone Miner Metab 27:175-181, 2009	Peripheral quantitative computed tomography is useful to monitor response to alendronate therapy in postmenopausal women	Sawada K, et al.	産科・婦人科
Acta Obstetricia et Gynecologica Scandinavica 88:720-723, 2009	Cesarean scar pregnancies successfully treated with methotrexate	Muraji M, et al.	産科・婦人科
Gynecologic Oncology 115:482- 487, 2009	Postoperative concurrent nedaplatin-based chemoradiotherapy improves survival in early-stage cervical cancer patients with adverse risk factors.	Mabuchi S, et al.	産科・婦人科
Reproductive Science 16:1034- 1039, 2009	Postpartum outcome of cervical intraepithelial neoplasia in pregnant women determined by route of delivery	Ueda Y, et al.	産科・婦人科
Eur J Pediatr (2009年9月、168巻 7号)	Severe arterial hypertension: a possible complication of McCune-Albright syndrome.	大幡 泰久	小児科
Pediatr Blood Cancer (2009年7月、52巻7 号)	Ex vivo-expanded donor CD4+ lymphocyte infusion against relapsing neuroblastoma: a transient graft-versus-tumor effect.	吉田 寿雄	小児科
Pediatr Blood Cancer (2009年10月、53巻 4号)	Antifungal prophylaxis with micafungin in patients treated for childhood cancer.	楠木 重範	小児科
Int J Hematol (2010年3月、91巻2 号)	A case of congenital bone marrow failure with radio-ulnar synostosis.	吉田 寿雄	小児科
Endocrine Journal (2009年12月、56巻 8号)	A case of pediatric virilizing adrenocortical tumor resulting in hypothalamic-pituitary activation and central precocious puberty following surgical removal.	三善 陽子	小児科
Eur J Pediatr (2010年2月、169巻 2号)	Increased type 3 iodothyronine deiodinase activity in a regrown hepatic hemangioma with consumptive hypothyroidism.	別所 一彦	小児科
Clin Pediatr Endocrinol, (2009年 8月、18巻 3号)	A Japanese male patient with 'fibular aplasia, tibial campomelia and oligodactyly': an additional case report.	北岡 太一	小児科
Mol Genet Metab, (2009年12月、98巻 4号)	Inhibition of autophagosome formation restores mitochondrial function in mucopolipidosis II and III skin fibroblasts.	大友 孝信	小児科
Brain Dev, (2009年8月、31巻7 号)	Pathogenesis of leukodystrophy for Krabbe disease: molecular mechanism and clinical treatment.	酒井 規夫	小児科
Mol Genet Metab, (2009年11月、98巻 3号)	Localized donor cells in brain of a Hunter disease patient after cord blood stem cell transplantation.	新谷 研	小児科
J Brain Sci, (2009年12月、35 巻)	A feasible approach to the assessment and treatment of pervasive developmental disorders in children.	毛利 育子	小児科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J.Path, (2009年5月、174巻 5号)	Inhibition of prostaglandin D synthase suppresses muscular necrosis.	毛利 育子	小児科
小児がん (2009年9月、46巻3 号)	日本人小児の悪性腫瘍患者におけるノギテカン(ハイカ ムチン®)の薬物動態	橋井 佳子	小児科
日本小児科学会雑 誌, (2010年1月、114巻 1号)	小児の劇症肝不全における劇症化の診断と予知に關す る検討	虫明 聡太郎	小児科
脳と発達, (2009年9月、41巻5 号)	脳幹部海綿状血管腫による睡眠異常を呈した1例	下野 九理子	小児科
大阪てんかん研究 会雑誌, (2009年6月、20巻1 号)	ガンマグロブリン療法が著効した難治性てんかん性スパ スムの一例	北井 征宏	小児科
大阪てんかん研究 会雑誌, (2009年6月、20巻1 号)	ケトン食療法を行なった歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮 症の1例	富永 康仁	小児科
Eur J Radiol 69:102-107, 2009.	Thin-section CT of lung without ECG gating: 64- detector row CT can markedly reduce cardiac motion artifact which can simulate lung lesions.	Yanagawa M,	放射線診断科
Radiology. 251(1):96-104, 2009.	Uterine Cervical Carcinoma: Preoperative Staging with 3.0-T MR Imaging - Comparison with 1.5-T MR Imaging.	Hori M,	放射線診断科
J Magn Reson Imaging. 30(2):621-630, 2009.	MR Imaging of Endometrial Carcinoma for Preoperative Staging at 3.0 T: Comparison with Imaging at 1.5 T.	Hori M,	放射線診断科
J Magn Reson Imaging. 30(5):1021-1026, 2009.	Diffusion-weighted MR Imaging: A new tool for the diagnosis of fistula in ano.	Hori M,	放射線診断科
Semin Ultrasound CT MR. 30(5):418-425, 2009.	Liver masses with central or eccentric scar.	Kim T,	放射線診断科
J Magn Reson Imaging. 29(3):595- 600, 2009.	Effect of superparamagnetic iron oxide on tumor-to- liver contrast at T2*-weighted gradient-echo MRI: comparison between 3.0T and 1.5T MR systems.	Kim T,	放射線診断科
Invest Radiol. 44: 559-565, 2009.	MR cholangiopancreatography at 3.0 T: intraindividual comparative study with MR cholangiopancreatography at 1.5 T for clinical patients.	Onishi H,	放射線診断科
Acad Radiol. 16: 836-841, 2009.	Computed radiography-based mammography with 50- microm pixel size: intra-individual comparison with film- screen mammography for diagnosis of breast cancers.	Onishi H,	放射線診断科
J Magn Reson Imaging. 29: 106-111, 2009.	Safety of ferucarbotran in MR imaging of the liver: a pre- and postexamination questionnaire-based multicenter investigation.	Onishi H,	放射線診断科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Liver Cancer. 5: 221-235, 2009.	Diagnosis of Hepatocellular Carcinoma: Multidetector-Row Computed Tomography and Magnetic Resonance Imaging. In: Hayat MA, ed. Methods of Cancer Diagnosis, Therapy, and Prognosis.	Onishi H,	放射線診断科
Mol Imaging Biol. 11: 229-235, 2009.	Imaging uterine cervical cancer with FDG-PET/CT: direct comparison with PET.	Tatsumi M,	放射線診断科
Int J Radiat Oncol Biol Phys 75: 475-481, 2009	Carbon-ion beam irradiation effectively suppresses migration and invasion of human non-small cell lung cancer cells.	Akino Yuichi	放射線治療/医学物理室
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endodont. 107(6): e49-e53, 2009	Diagnostic imaging findings for mandibular metastasis from gastric adenocarcinoma.	Furukawa Souhei	放射線治療
Oral Radiol. 25(1): 71-76, 2009	Ameloblastic fibro-odontoma arising in the mandible: Three case reports.	Furukawa Souhei	放射線治療
Eur J Radiol.69(3): 464-472	CT and MR images of pleomorphic adenoma in major and minor salivary glands.	Furukawa Souhei	放射線治療
Annals of Nuclear Medicine. 23(5): 443-449	Metallic artifacts caused by dental metal prostheses on PET images: A PET/CT phantom study using different PET/CT scanners.	Furukawa Souhei	放射線治療
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endodont.107 (5): e38-e44	Postoperative maxillary cysts: Magnetic resonance imaging compared with computerized tomography.	Furukawa Souhei	放射線治療
Cancer 115: 5413-5420, 2009	Postoperative radiation therapy after complete resection of thymoma has little impact on survival.	Inoue Takehiro	放射線治療
Gynecol Oncol 115: 482-487, 2009	Postoperative concurrent nedaplatin-based chemoradiotherapy improves survival in early-stage cervical cancer patients with adverse risk factors.	Mabuchi S	産婦人科
Int J Clin Oncol. 14: 1, 2009	Current status and perspectives of brachytherapy.	Inoue Takehiro	放射線治療
Tumori 95: 461-466, 2009	Assessment of influence of smoking, drinking, leukoplakia and dental irritation on local control of early oral tongue carcinoma treated with brachytherapy: age and dental factors are potential prognostic factors.	Inoue Takehiro	放射線治療
J Surg Oncol 100: 657-662	Impact of postoperative irradiation after non-curative resection of hilar biliary cancer.	Inoue Takehiro	放射線治療
Brachytherapy 8: 234-239, 2009	High-dose-rate interstitial brachytherapy for previously untreated cervical carcinoma.	Isohashi Fumiaki	放射線治療
Int J Radiat Oncol Biol Phys 75: 1003-1007, 2009	Correlation between dosimetric parameters and late rectal and urinary toxicities in patients treated with high-dose-rate brachytherapy used as monotherapy for prostate cancer.	Konishi Kouji	放射線治療

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Academic Radiol. 16(8): 1025-1028	A Phantom Study On Component Segregation for MR Images Using ICA.	Murakami Shuumei	放射線治療
Int J Clin Oncol 14: 525-528, 2009	Verification of air-kerma strength of 125I seed for permanent prostate implants in Japan.	Sumida Iori	放射線治療/医学物理室
Cancer 115: 5413- 5420, 2009	Postoperative radiation therapy after complete resection of thymoma has little impact on survival.	Utsumi T	呼吸器外科
Int J Clin Oncol 14: 31-36, 2009	Current status and perspectives of brachytherapy for prostate cancer.	Yoshioka Yasuo	放射線治療
Strahlenther Onkol 185: 446-452, 2009	External-beam radiotherapy for clinically localized prostate cancer in Osaka, Japan, 1995-2006: Time trends, outcome, and risk stratification.	Yoshioka Yasuo	放射線治療
Int J Radiat Oncol Biol Phys 74(3):759-65, 2009	External beam radiotherapy for clinically localized hormone-refractory prostate cancer: clinical significance of Nadir prostate-specific antigen value within 12 months.	Teshima Teruki	放射線治療/医学物理室
Anticancer Res 29(11):4605-13, 2009	Postoperative radiotherapy for localized prostate cancer: clinical significance of nadir prostate-specific antigen value within 12 months.	Teshima Teruki	放射線治療/医学物理室
Int J Radiat Oncol Biol Phys 75: 357- 363, 2009.	Radiation therapy for esophageal cancer in Japan: Results of the Patterns of Care Study 1999-2001	Teshima Teruki	放射線治療
Jpn.J.Clin. Oncol. 39(12): 813-819, 2009	Quality assurance in the prospective multi-institutional trial on definitive radiotherapy using high-dose-rate intracavitary brachytherapy for uterine cervical cancer: The individual case review in Japan.	Teshima Teruki	放射線治療
Jpn J Clin Oncol 39(12):820-4, 2009	Patterns of radiation treatment planning for localized prostate cancer in Japan: 2003-05 patterns of care study report.	Teshima Teruki	放射線治療/医学物理室
Int J Clin Oncol 14(3):237-44, 2009.	National structure of radiation oncology in Japan with special reference to designated cancer care hospitals.	Teshima Teruki	放射線治療
Int J Radiat Oncol Biol Phys 75: 571- 579, 2009	A preliminary study for in-house Monte Carlo simulations: An integrated Monte Carlo verification system.	Teshima Teruki	放射線治療
BJU Int 104(10):1462-6, 2009	Radiotherapy for patients with localized hormone-refractory prostate cancer: results of the Patterns of Care Study in Japan.	Teshima Teruki	放射線治療/医学物理室
Esophagus 6, 95- 110	Comprehensive Registry of Esophageal Cancer in Japan, 2001.	Teshima Teruki	放射線治療
Appl. Phys. Lett, 94: 181502-1- 181502-3, 2009	Application of laser-accelerated protons to the demonstration of DNA double-strand breaks in human cancer cells.	Teshima Teruki	放射線治療



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Cancer. 124: 2478-2487, 2009	Efficient eradication of hormone-resistant human prostate cancers by inactivated Sendai virus particle.	Kawaguchi Yoshifumi	放射線治療
Jpn J Radiol 27(8): 309-15, 2009	Longitudinal practical measurement of skin color and moisture during and after breast-conserving therapy: influence of neoadjuvant systemic therapy.	Kotsuma Tadayuki	放射線治療
Breast Cancer. 16:105-12, 2009	Preliminary result of accelerated partial breast irradiation after breast-conserving surgery.	Kotsuma Tadayuki	放射線治療
放射線生物研究 44(2): 199-207, 2009	光子線と重粒子線によるがんの転移過程と血管新生に及ぼす影響、特集(重粒子線治療生物学の進展)	尾方 俊至	放射線治療/医学物理室
日放腫会誌 21: 19-25, 2009	第4回JASTRO将来計画セミナー報告、JASTROの視点から考える「文部科学省・がんプロフェッショナル養成プラン」-All Japanとして‘がんプロ’実施5年間をどのように取り組み、如何に活用できるか？	手島昭樹	放射線治療
最新医学 64(6): 1123-1128, 2009	Patterns of Care Study (PCS) 特集:がん放射線療法の進歩と展望、	手島昭樹	放射線治療
日放腫会誌23: 113-125, 2009.	JASTROデータベース委員会. 全国放射線治療施設の2007年定期構造調査報告 (第1報).	手島昭樹	放射線治療/医学物理室
日放腫会誌, 23: 127-138, 2009	JASTROデータベース委員会. 全国放射線治療施設の2007年定期構造調査報告 (第2報).	手島昭樹	放射線治療/医学物理室
日放腫会誌 21(1): 28, 2009	特集 IHE-ROの現状と問題点	手島昭樹	放射線治療
Jpn J Radiol. 2009 Jul;27(6):252-6.	Simultaneous imaging of magnetic resonance imaging and positron emission tomography by means of MRI-compatible optic fiber-based PET: a validation study in ex vivo rat brain.	Imaizumi M et al.	核医学診療科
Eur J Nucl Med Mol Imaging. 2009 Aug;36(8):1219-25.	(18)F-FDG PET for the evaluation of thymic epithelial tumors: Correlation with the World Health Organization classification in addition to dual-time-point imaging.	Inoue A et al.	核医学診療科
IEEE TRANSACTIONS ON NUCLEAR SCIENCE. 2009 Oct; 56(5): 2706-	A Multi-Slice Dual Layer MR-Compatible Animal PET System.	Hatazawa J et al.	核医学診療科
Jpn J Radiol. 2010 Feb;28(2):95-100.	Diagnostic performance of fluorodeoxyglucose positron emission tomography/magnetic resonance imaging fusion images of gynecological malignant tumors: comparison with positron emission tomography/computed tomography.	Nakajo K et al.	核医学診療科
Cancer Lett (2009 年7月280巻1号)	A. Expression of nestin mRNA is a differentiation marker in thyroid tumors.	高野 徹	臨床検査部
Int J Pediatr Otorhinolaryngol (2009年12月73巻12号)	Outpatient administration of radioactive iodine after total thyroidectomy for pediatric thyroid cancer	高野 徹	臨床検査部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本放射線技術学会雑誌 (Vol.65, No5:620-625, 2009)	PACS参照を目的としたデジタイズマンモグラフィにおける微細構造物の検出能:ファントムを用いた線維, 石灰化, および腫瘍陰影に対する評価	山田 幸子	放射線部門
J Thromb Haemost (7:1373-1383, 2009)	Presence of platelet-associated anti-GPVI autoantibodies and restoration of GPVI expression in patients with GPVI deficiency.	Akiyama M, et al	血液・腫瘍内科輸血部
臨床病理 (57:1039-1044, 2009)	網状血小板測定法2法の比較検討と臨床的有用性の検討 -フローサイトメトリー(FCM)法と多項目自動血球分析装置XE-2100による自動測定(IPF)法-	林 悟, ら	輸血部臨床検査部
Methods Inf Med2009; 48(6): 566-573.	Alert system for inappropriate prescriptions relating to patients' clinical condition.	松村 泰志	医療情報部
J TRAUMA Vol.66 No.2 P304~308	Prognostic Indicators and Outcome Prediction Model for Severe Traumatic Brain Injury	田崎修 外	高度救命救急センター
日本救急医学会雑誌 Vol.20 No.2 別刷 P84~92	鈍的頭頸部血管損傷に対する3DCTAによるスクリーニングの有用性と問題点	田崎修 外	高度救命救急センター
日本救急医学会雑誌 Vol.20 No.3 別刷 P133~141	Lethal triad に陥った外傷出血症例に対する遺伝子組換え活性化型血液凝固第Ⅶ因子製剤(ノボセプン)投与の有効性	清水健太郎 外	高度救命救急センター
Dig Dis Sei 54 P1071~1078	Synbiotics Decrease the Incidence of Septic Complication's in Patients with Severe SIRS:A Preliminary Report	清水健太郎 外	高度救命救急センター
TRAUMA Vol.66 No.4 P1002~1007	Evaluation of Posttraumatic Venous Sinus Occlusion With CT Venography	藤井良幸 外	高度救命救急センター
日本救急医学会 Vol.20 No.5 P258~264	フェノバルビタール大量療法が奏効したと考えられる痙攣重積症例の1例	酒井智彦 外	高度救命救急センター
Emergency Medicine Journal P1~5	Comparison of neurological outcomes following witnessed out-of-hospital ventricular fibrillation defibrillated with either biphasic or monophasic automated external defibrillators	梶野健太郎 外	高度救命救急センター
SHOCK Vol.32 No. 6 P593~600	The Effect of Antithrombin on Pulmonary Endothelial Damage Induced by Crush Injury	園井英輝 外	高度救命救急センター
Osteoarthritis Cartilage. [2010 Jul;18(7)]	Loading and knee alignment have significant influence on cartilage MRI T2 in porcine knee joints.	Shiomi T, Myoi A	未来医療センター
Cancer Sci. [2010 Apr; 101(4)]	High frequencies of less differentiated and more proliferative WT1-specific CD8 T cells in bone marrow in tumor-bearing patients: An important role of bone marrow as a secondary lymphoid organ.	Murao A, Myoi A	未来医療センター
J Dermatol. [2009 Sep;36(9)]	Case of schwannomatosis.	Murakami Y, Myoi A	未来医療センター

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Biomed Mater Res B Appl Biomater. [2009 Nov;91(2)]	A comparative assessment of synthetic ceramic bone substitutes with different composition and microstructure in rabbit femoral condyle model.	Yamasaki N, Myoi A	未来医療センター
Clin Orthop Relat Res. [2009 Dec;467(12)]	Synthetic Alginate as a Carrier of OP-1 for Bone Induction.	Nanno K, Myoi A	未来医療センター
脳21 金芳堂 (21(3) p58-62, 2009)	自家嗅粘膜の移植による脊髄の再建: 神経再生臨床応用	岩月幸一、吉峰俊樹	未来医療センター
Experimental neurology	Methylcobalamin increases Erk1/2 and Akt activities through the methylation cycle and promotes nerve regeneration in a rat sciatic nerve injury model	岡田 潔	未来医療センター
Neurological Research(2010 Mar 26.)	Cilostazol attenuates cerebral vasospasm after experimental subarachnoid hemorrhage.	梅垣昌士	未来医療センター
J Biosci Bioeng.109(3)310-313(2010)	Growth and differentiation potentials in confluent state of culture of human skeletal muscle myoblasts.	Saito A, Sawa Y	未来医療センター
J Biosci Bioeng.109(1),55-61(2010)	Myogenic induction of human mesenchymal stem cells by culture on dendrimer-immobilized surface with d-glucose display	Saito A, Sawa Y	未来医療センター
J Thorac Cardiovasc Surg. 138(4) 985-993 (2009)	Layered implantation of myoblast sheets attenuates adverse cardiac remodeling of the infarcted heart.	Saito A, Sawa Y	未来医療センター
Ann Thorac Surg. 88(4) 1269-1276 (2009)	Newly developed tissue-engineered material for reconstruction of vascular wall without cell seeding.	Saito A, Sawa Y	未来医療センター
J. Biosci. Bioeng. 108(2), 174-177 (2009)	Synergic Stimulation of Laminin and Epidermal Growth Factor Facilitates the Myoblast Growth through Promoting Migration.	Saito A, Sawa Y	未来医療センター
J Thorac Cardiovasc Surg. 138(2) 460-467 (2009)	Skeletal myoblast sheet transplantation improves the diastolic function of a pressure-overloaded right heart.	Saito A, Sawa Y	未来医療センター
J Magn Magn Mater. 321, 1393-1396 (2009)	Synthesis and characterization of biocompatible magnetic glyconanoparticles.	Saito A, Sawa Y	未来医療センター
Tissue Eng Part C Methods. 15(4):717-728 (2009)	Automating the expansion process of human skeletal muscle myoblasts with suppression of myotube formation.	Saito A, Sawa Y	未来医療センター
日本外科感染症学会雑誌	院内肺炎診療ガイドラインからみた術後肺炎に対する治療	橋本 章司	感染制御部
成人病と生活習慣病(日本成人病学会準機関雑誌)	アレルギー・薬剤に起因する不明熱	橋本 章司	感染制御部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Clin Oncol. 2009 Apr;14(2):150-8.	Standardized uptake value on FDG-PET as a marker for disease activity in patients with non-Hodgkin's lymphoma: comparison with serum soluble interleukin-2 receptor values.	Tatsumi M et al.	放射線部門
癌と化学療法	Paclitaxelによる末梢神経障害の臨床的特徴と牛車腎気丸の役割	山本智也	薬剤部

計 316

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 福澤 正洋			
管理担当者氏名	総務課長 曾谷 祐一 薬剤部長 黒川 信夫	医事課長 玉置 佳史 放射線部長 畑澤 順		

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録			
病院日誌		総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カルテ等病歴資料は、1患者1カルテとし、コンピュータによる集中管理を行っている。</li> <li>・エックス線写真は、放射線部で集中保管。</li> </ul>
検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事課	
処方せん		薬剤部	
手術記録		手術部	
看護記録		看護部	
エックス線写真		放射線部	
各科診療日誌		各診療科	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	総務課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	総務課 薬剤部	
	項規 第則 一第 号に 掲げ る一 体第 一項 確各 保号 の状 況及 び第 九条 の二 十三 第一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	中央クオリティマネジメント部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	中央クオリティマネジメント部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	中央クオリティマネジメント部
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		中央クオリティマネジメント部	
専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		中央クオリティマネジメント部	
専任の院内感染対策を行う者の配置状況		感染制御部	
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		中央クオリティマネジメント部	
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医事課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び諸記録の管理に関する諸記	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療技術部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療技術部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療技術部
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療技術部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び  
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	総務課長 曾谷 祐一
閲覧担当者氏名	総務課庶務係長 金谷 嘉久
閲覧の求めに応じる場所	総務課庶務係

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	83.6 %	算定期間	平成21年4月1日 ~ 平成22年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	20,390人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	13,018人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	504人	
	D: 初診の患者の数	27,545人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

## 規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者中心の医療の実践</li> <li>2. 診療情報の共有</li> <li>3. 医療安全に関する組織的取り組み</li> <li>4. インシデントの報告</li> <li>5. 機能する医療事故防止対策</li> <li>6. 適切な医療事故への対応</li> <li>7. 患者からの医療相談の実施</li> <li>8. 医療安全情報の共有</li> <li>9. 職員に対する教育研修</li> <li>10. 医療安全文化の構築</li> <li>11. 医療安全管理マニュアルの作成・更新</li> <li>12. 医療安全管理に関する指針の公開</li> </ol>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	以下参照
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>統括医療安全管理委員会：本院における医療に係る安全管理について統括する 年11回  リスクマネジメント委員会：医療事故の防止策を策定する 年6回  医療クオリティ審議委員会：医療クオリティの向上を図る 年16回  医療事故対策委員会：医療事故が発生した場合の必要な対応を行う 年0回</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>第1回： ・ 医療従事者間のコミュニケーション  ・ インシデントレポートの書き方  第2回： ・ 患者急変時の物品準備について  第3回： ・ 院内暴力・暴言等への対応について</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①医療安全管理マニュアル第7版の改訂と周知</li> <li>②CVCトラブルシューティングフローチャート作成と周知</li> <li>③蘇生処置拒否 (DNR) に関するガイドライン作成と周知</li> <li>④院内パトロールにおいて、全部署 (病棟、外来) の救急カート内物品の管理状況 (薬剤は除く)、ハイリスク処置実施時の状況、急変時の対応 (物品準備)、除細動器・AED場所の周知状況の確認</li> <li>⑤CPRコールポスター、外来救急物品・医療機器等の配置地図の作成と周知</li> <li>⑥CPRコールの事例分析と検証</li> <li>⑦外来部門における新型インフルエンザ関連の急変対応物品の整備</li> <li>⑧NICU ラリンジアルマスクの定数配置</li> <li>⑨エレベーターの緊急時直行機能付与</li> <li>⑩リウマトレックスカプセルなどの投与間隔に注意を要する薬剤オーダ方法の改良</li> <li>⑪小児医療センターにおけるシリンジに貼付する薬剤ラベルのカラー統一</li> </ol>	



(様式第13-2)

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 5 名 ) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 6 名 ) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 所属職員: 専任( 5 )名 兼任( 1 )名</li> <li>・ 活動の主な内容:<ol style="list-style-type: none"><li>1. インシデントの調査・分析・レポート管理</li><li>2. 医療事故防止方策の検討・実施・評価</li><li>3. リスクマネジャー会議の開催</li><li>4. 職員研修の企画・実施</li><li>5. 医療安全推進及び教育のための教材の開発・活用</li><li>6. 現場のリスクマネジャー支援</li><li>7. 他の委員会や部署、各職種間の連絡調整</li><li>8. リスクマネジメント委員会等の開催準備及び支援</li><li>9. 医療事故後の患者及び家族等への対応支援等</li></ol></li></ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	有 ・ 無

## 医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有) ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>医薬品安全管理講習会（リスクマネジメント講習会・医療機器安全管理講習会と共催）          病棟での注射剤混合の注意点          麻薬の事故事例          薬品情報について          持参薬に関するピットフォール          抗がん剤レジメンシステムの概要 など</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有) ・ 無 )</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>医薬品安全管理責任者は医薬品安全管理委員会を主催し、手順書を維持管理する。手順書は、医薬品の採用・購入、管理、投薬指示・調剤、与薬・薬剤管理指導、情報、他施設連携に関する基本6項目について定めている。各部署に医薬品安全管理者を置いて、手順書の遵守状況について項目ごとにチェックを行い、年1回、医薬品安全管理責任者に状況を報告し、問題を抽出し解決を図っている。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ 無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>・ リウマトレックス（一般名メトトレキサート）は1週間に3回、12時間ごとに服用という特殊な間歇投与を行う薬剤である。従来は処方オーダー時に警告画面を出す方式であったが、連続投与の事故事例が発生したことを踏まえ、用法の限定を行い、連続投与ができないようシステム改善を行った。</p> <p>・ 処方時や病棟で取り扱いに注意すべき薬剤を「ハイリスク薬」としてまとめて表を作成し、各部署に掲示して注意を喚起した。また、薬剤部調剤室内や病棟の定数配置場所にシールを貼って注意を喚起した。</p>	

## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>・ 院内感染対策に関する組織的な取り組み</li> <li>・ 感染制御部の設置と目的</li> <li>・ 院内感染対策の対象者</li> <li>・ 院内感染対策の内容</li> </ul> </li> </ul>	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 11 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <p>感染対策委員会：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①院内感染症の届出状況や抗菌薬の使用状況等の報告</li> <li>②院内感染対策についての審議 (感染対策の重要事項に関すること、必要に応じての指導助言に関すること、院内感染防止対策の施設基準に関すること等)</li> </ul> </li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全職員対象：3回/年 新型インフルエンザ対策、院内感染対策のまとめの報告</li> <li>・ 対象別教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>新採用者（研修医、看護師）－院内感染対策の基本についての講義と演習</li> <li>部署単位での勉強会－耐性菌対策、抗菌薬の適正使用など部署の問題に応じた内容</li> <li>外部委託業者（清掃員、洗浄員、受付、メッセージャーなど）－新型インフルエンザ対策</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ((有) ・ 無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐性菌サーベイランス、デバイスサーベイランス等のサーベイランスデータを元に対象部署に介入を行い感染対策の改善を図っている。 MRSAサーベイランスを元にした介入：27件/2009年度 デバイスサーベイランス実施部署：ICU (BSI、UTI、VAP) 救命救急センター (BSI、UTI)</li> <li>・ 抗菌薬使用状況を薬剤部からのデータを元に、適正使用にむけての介入を行っている。 長期使用患者の電子カルテに付箋でコメントを貼付し注意喚起とコンサルトを促す。</li> </ul> </li> </ul>	

## 医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有) ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 29 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>年2回の病院職員を対象に医療機器安全講習会を実施。新規購入機器の安全使用講習会は使用対象部署に対し代表者研修を行い、使用方法を習得した後各部署単位で使用方法の講習会を実施している。新人看護師に対する医療機器の安全使用講習会は、オリエンテーションにカリキュラム内に輸液ポンプとシリンジポンプの使用法の講習会を実施。その他、本年度に入り既に12回の部署単位の研修を実施している。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の作成 ((有) ・ 無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>主に病棟・外来で汎用医療機器として中央管理する機器(17機種1956台)は、終了点検と定期点検を実施している。また、各部署が所有する生命維持装置(人工呼吸器・体外循環装置・除細動器・透析装置・保育器)は臨床工学技士が年間点検計画を作成し、実施もしくはメーカー点検に対するマネージメントを行っている。ほとんど滞りなく実施を行い記録している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ((有) ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>クオリティマネージメント部や感染制御部等と情報の交換により具体的な対策を実施している。今年度は各部署にある救急カートや機器の配置と統一、その一環として除細動器とAEDの各部署による点検の実施を計画した。情報の収集については、大阪府健康医療部等の公的機関からの通知、業者からの通知等により行っており、関連事項についてはリスクマネージャーに通知している。</p>	